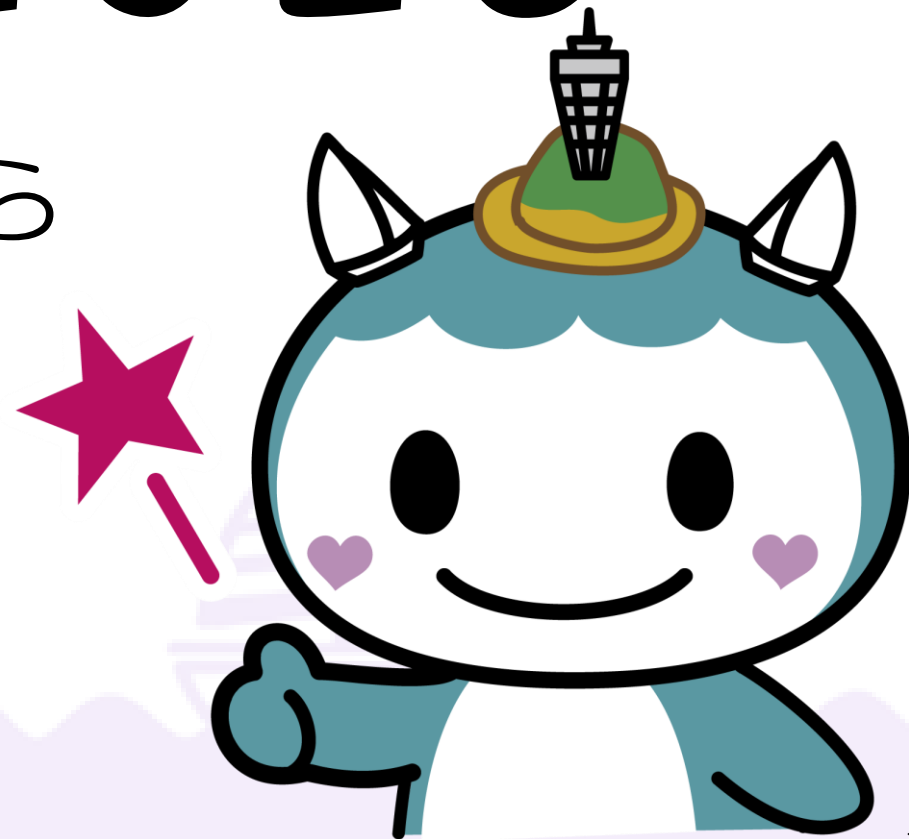


通常版

わかりやすい 藤沢市の財政2026

令和8年度予算と令和6年度決算から
藤沢市の財政状況を見てみよう



～もくじ～

- 財政とは・・・？ P.3
- 令和8年度予算を見てみよう P.4
- 令和6年度決算を見てみよう P.11
- 藤沢市の借金はどうなっているの？ P.19
- 藤沢市の貯金はどれくらい？ P.28
- これから先の藤沢市の財政は？ P.30
- 財務書類でわかる藤沢市の財政状況 P.37
- さいごに・・・ P.40



財政とは・・・？

- 藤沢市に入ってきたお金を管理し、市民の生活に役立つよう必要なお金を使い、活動することを「財政」といいます。
- 管理は1年間（4月～翌3月）で行われ、どのように集め、使うか計画したものを「予算」、予算に沿って1年間お金のやりくりができたのかを確認するのが「決算」といいます。



令和8年度予算を見てみよう

《藤沢市のお財布はどんなになっているの?》

藤沢市のお財布の分け方を見てみましょう。

会計名		R8予算額	内容
一般会計		1,919億 8,100万円	福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。
特別会計	北部第二（三地区） 土地区画整理事業費	882億 3,496万円	それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしている会計です。
	墓園事業費		
	国民健康保険事業費		
	介護保険事業費		
	後期高齢者医療事業費		
公営企業会計	下水道事業費	515億 7,651万円	民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。
	市民病院事業		

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。

つまり、3種類のお財布があって、お金の出し入れをしています。

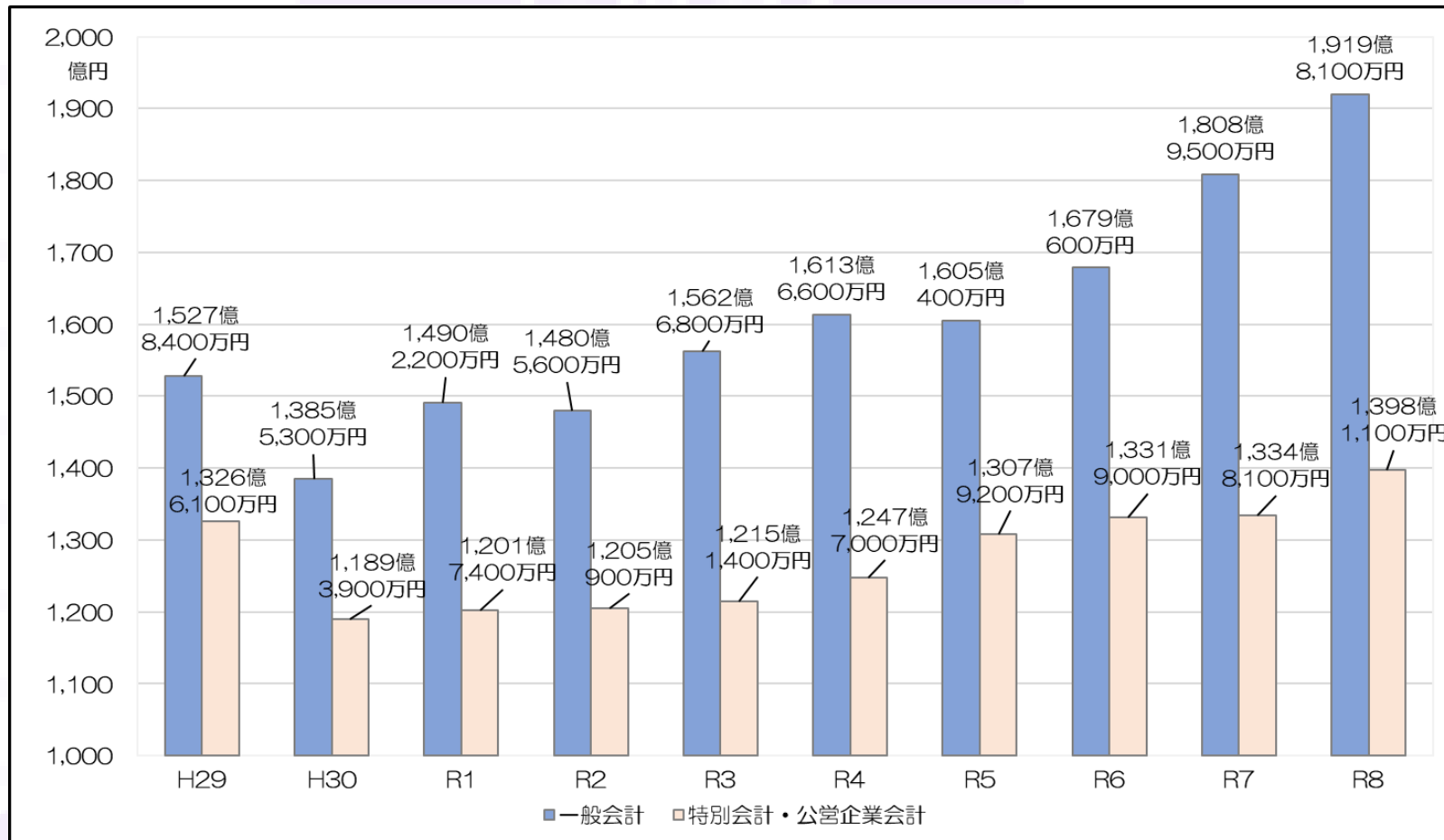




令和8年度予算を見てみよう

《藤沢市のお財布はどうなっているの?》

過去からの予算規模の推移から、1年間でどれくらいお金を使うかを見てみましょう。



令和8年度の一般会計当初予算は、福祉施策や子育て施策、公共施設の老朽化対策や都市基盤整備事業、また、物価高騰や労務費の上昇などにより過去最大の予算規模となっています。



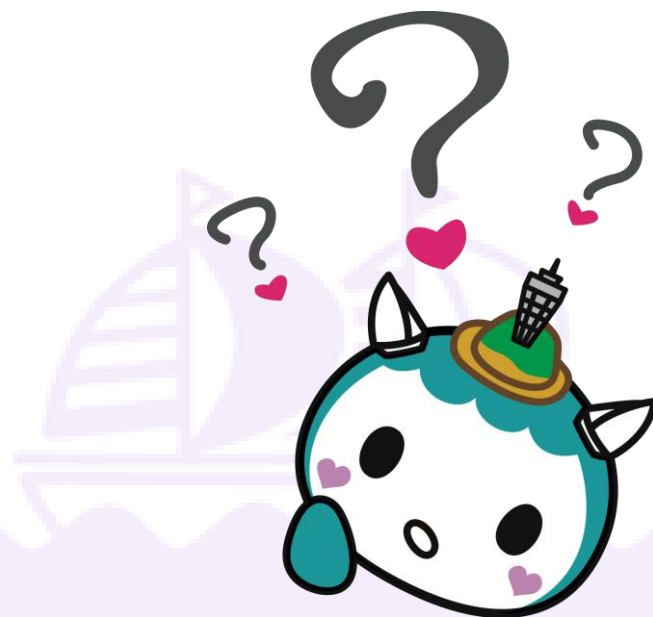
令和8年度予算を見てみよう

《藤沢市の歳入（1年間の収入）はどんなになっているの？》

では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、令和8年度の歳入がどのようなになっているのか見てみましょう。

自主財源	依存財源
1,112億2,046万円	807億6,054万円
みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。	道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国や県が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

藤沢市の歳入には、大きく分けて、自主財源と依存財源の2つに分けることができます。

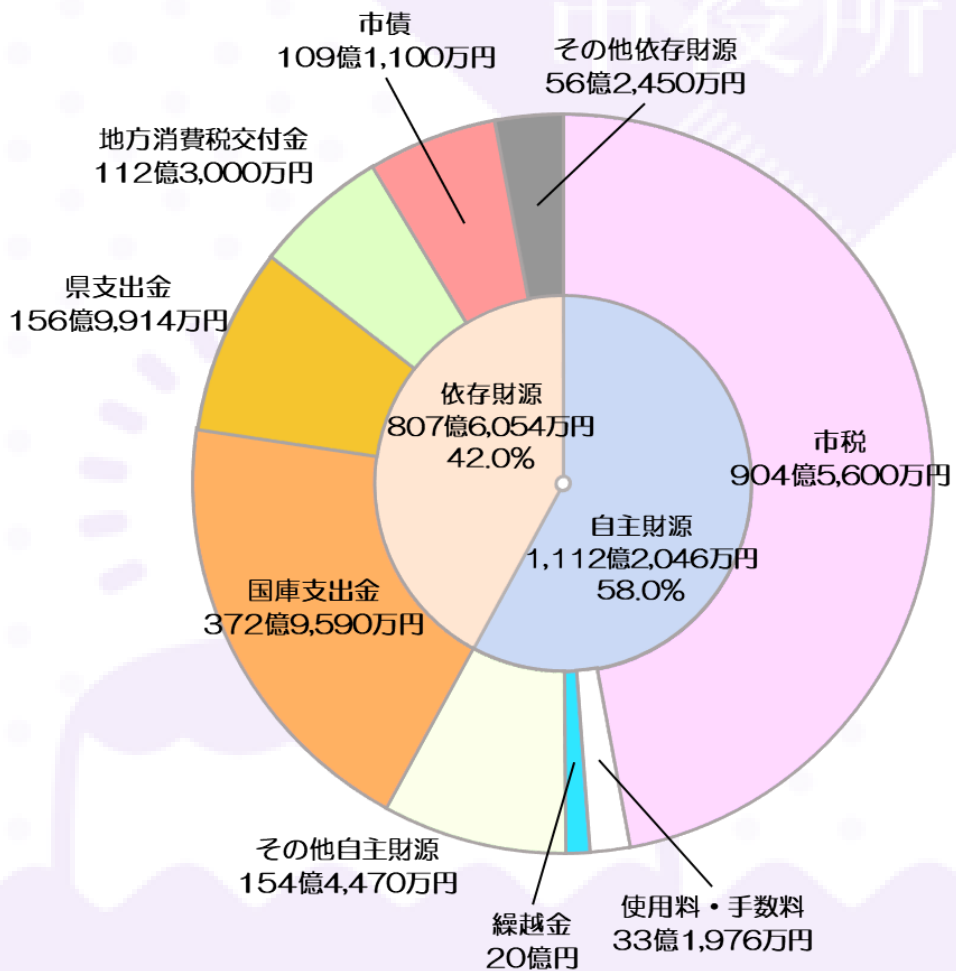




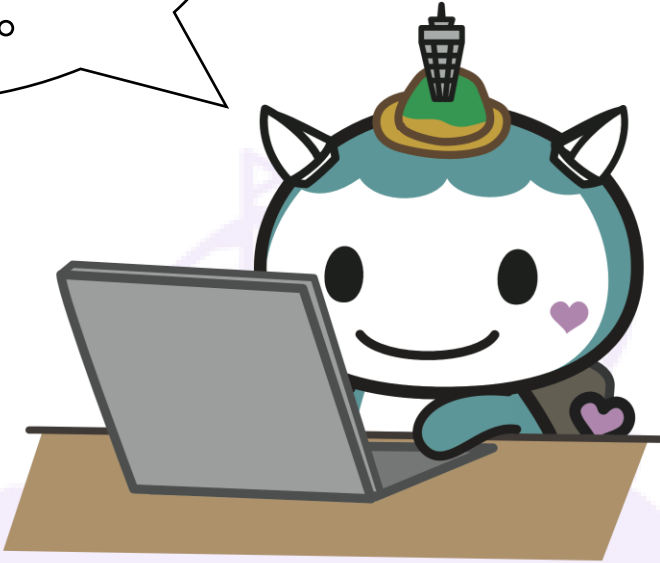
令和8年度予算を見てみよう

《藤沢市の歳入（1年間の収入）はどんなになっているの？》

前ページで出てきた自主財源と依存財源の詳しい内訳を見てみましょう。



藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴だキュン。

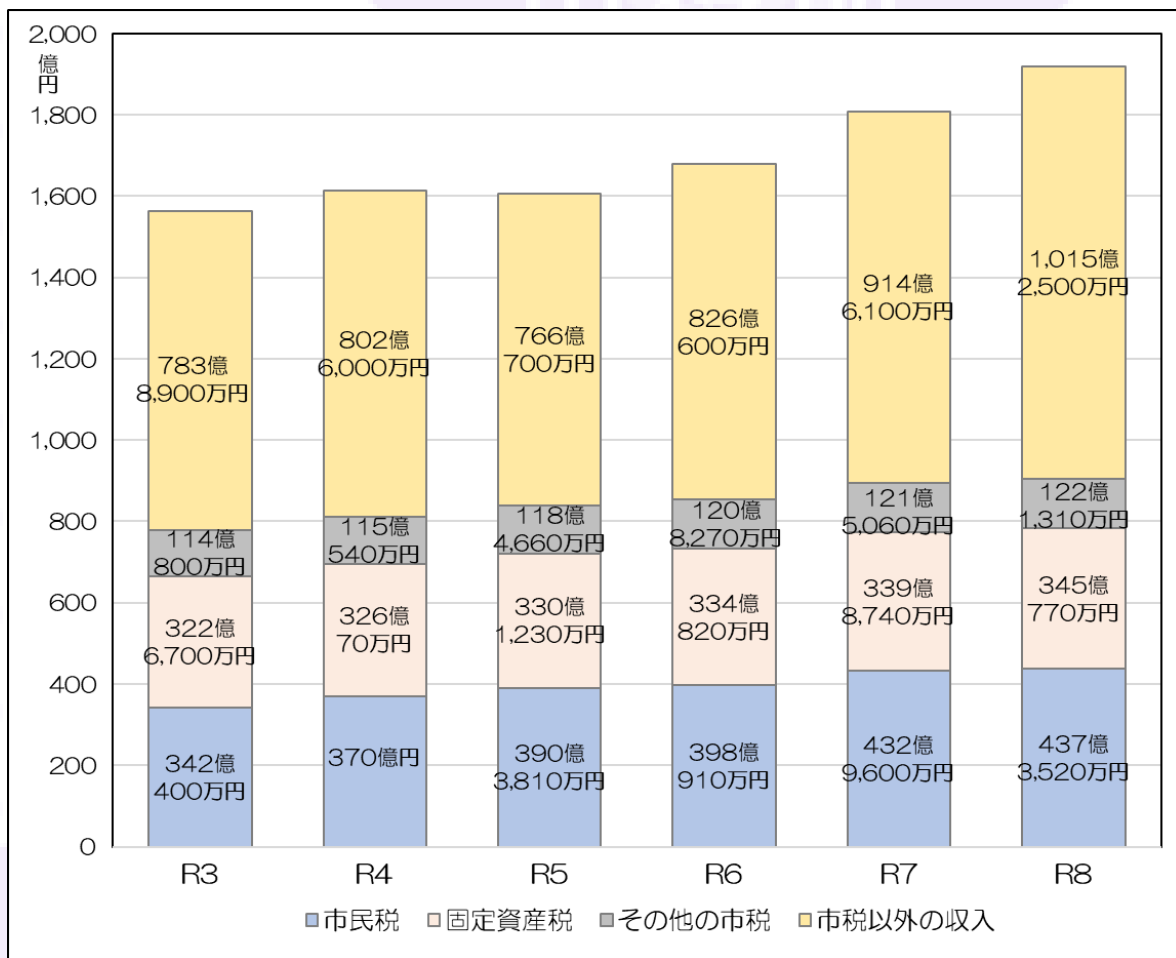




令和8年度予算を見てみよう

《藤沢市の歳入（1年間の収入）はどんなになっているの？》

みなさんに支払っていただいている市税の、一般会計予算に占める推移も見てみましょう。



令和8年度予算の市税収入は、**個人市民税、固定資産税などの増額を見込んでいる一方で、国庫支出金等の増額により、歳入全体に対する市税の割合は減少しています。**

およそ半分が市税
なんだキュン。

歳入総額
1,919億8,100万円の
47.1%が市税





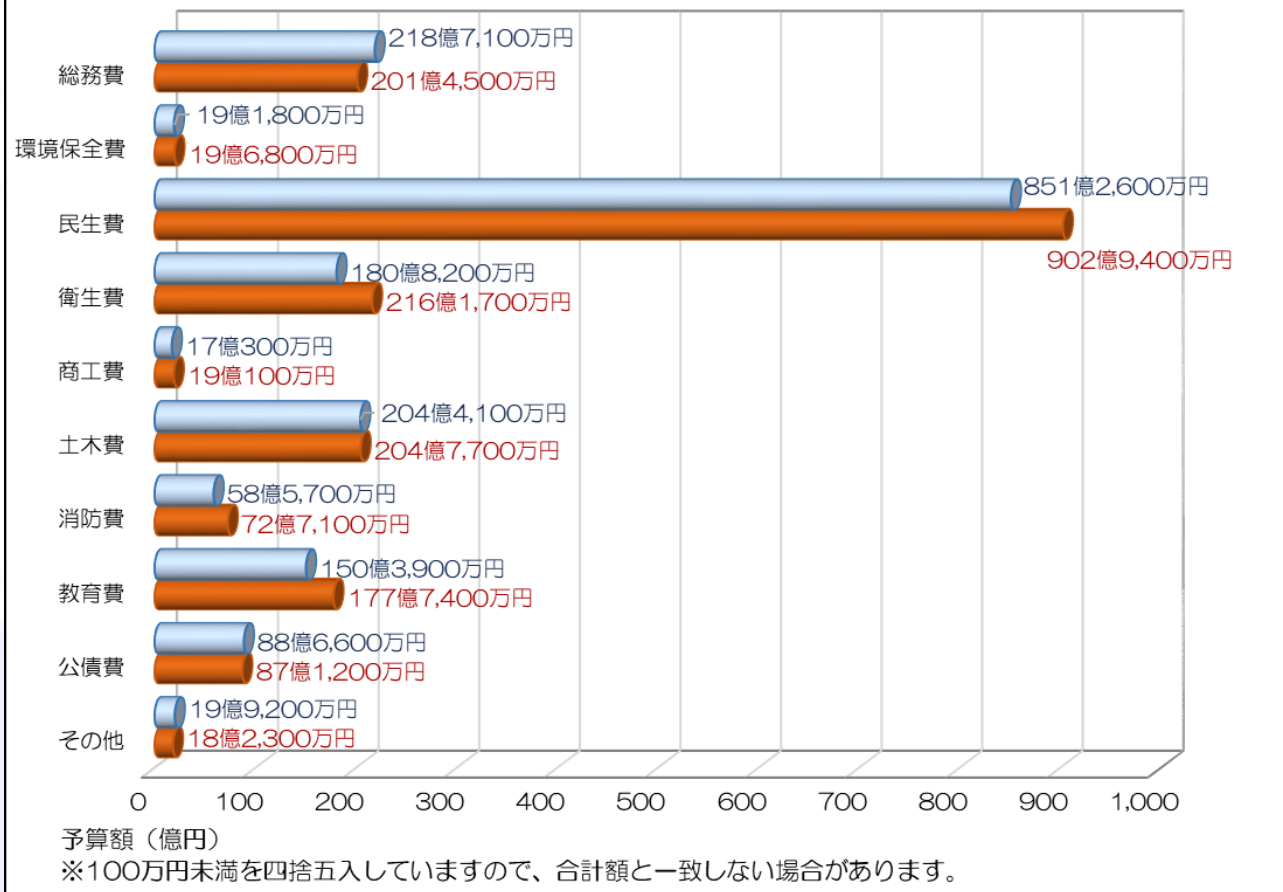
令和8年度予算を見てみよう

《市の歳出（1年間の支出）はどんな状況なの？》

入ってきたお金はどのように使われるのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

目的別のお金の使い道

■ 令和7年度 ■ 令和8年度



市では、福祉や子育てのほか、道路や学校などを整備したり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、さまざまな事業にお金が使われます。

予算の主な目的



総務費

市民センターの運営、税金の徴収や住民票の発行、防災対策など



民生費

保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉



衛生費

ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営など



土木費

道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理など



消防費

消防車や救急車を管理したり、消防署の整備など



教育費

小中学校の校舎や体育館、図書館、スポーツ施設の整備や運営など

消費税率引き上げによる増収分（地方消費税交付金）については、社会保障4経費（年金・医療・介護・子育て）やその他の社会保障施策に使われます。



令和8年度予算を見てみよう

《家計簿に例えて見てみると・・・》

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません。例えば藤沢市の予算を年収500万円（月収41万円）の家計に置き換えてみると・・・

藤沢市の予算

歳 入		歳 出	
市税	904億 5,600万円	人件費	342億 4,255万円
使用料、手数料など	207億 6,446万円	扶助費	615億 4,675万円
【自主財源合計】	1,112億 2,046万円	物件費	370億 7,069万円
国・県支出金など	698億 4,954万円	投資的経費・維持補修費	164億 8,710万円
市債の発行	109億 1,100万円	公債費	87億 1,162万円
【依存財源合計】	807億 6,054万円	繰出金・補助費	313億 9,415万円
		積立金・貸付金など	25億 2,814万円
歳入の合計	1,919億 8,100万円	歳出の合計	1,919億 8,100万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は以下の通りとなっています。

・ローンの残高（市債残高）
718億9,765万円

家計簿に例えると
187万3,000円

・預貯金の残高（基金残高）
207億7,600万円

家計簿に例えると
54万1,000円

※市債残高と基金残高は一般会計令和6年度決算時点
収入ではお給料やパート代で58.0%を占めています。

支出では、医療費や保育料、仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が多いですね。

1ヶ月の家計簿に例えると・・・

収 入		支 出	
給 料	19万 3,200円	食 費	7万 3,100円
パート代	4万 4,300円	医療費・保育料	13万 1,500円
【給料などの合計】	23万 7,500円	光熱水費や被服代	7万 9,200円
その他臨時収入	14万 9,200円	家の増築・修理、家財購入	3万 5,200円
銀行からの借入	2万 3,300円	住宅ローン返済	1万 8,600円
【臨時収入の合計】	17万 2,500円	実家や子ども等への仕送り	6万 7,000円
		貯 金	5,400円
収入の合計	41万円	支出の合計	41万円

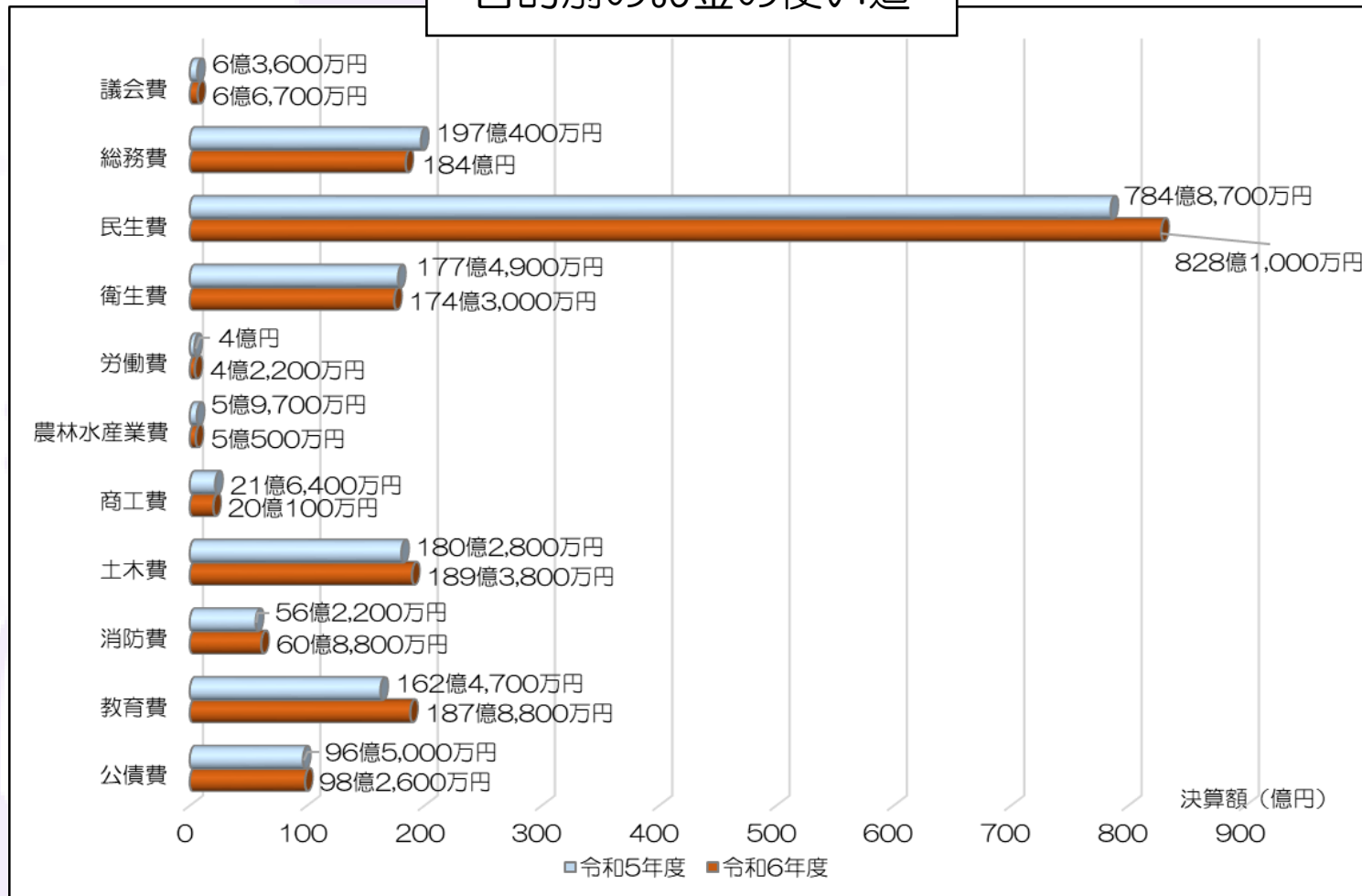


令和6年度決算を見てみよう

《今度は普通会計決算から藤沢市の財政状況を見てみましょう》

令和6年度はどのようなことにお金を使ったのか性質別・目的別に見てみましょう。

目的別のお金の使い道



★普通会計とは？★
他市町村との比較に使います。

市町村ごとに会計の範囲が異なり、財政状況の比較が困難なため、統計上用いる会計区分です。

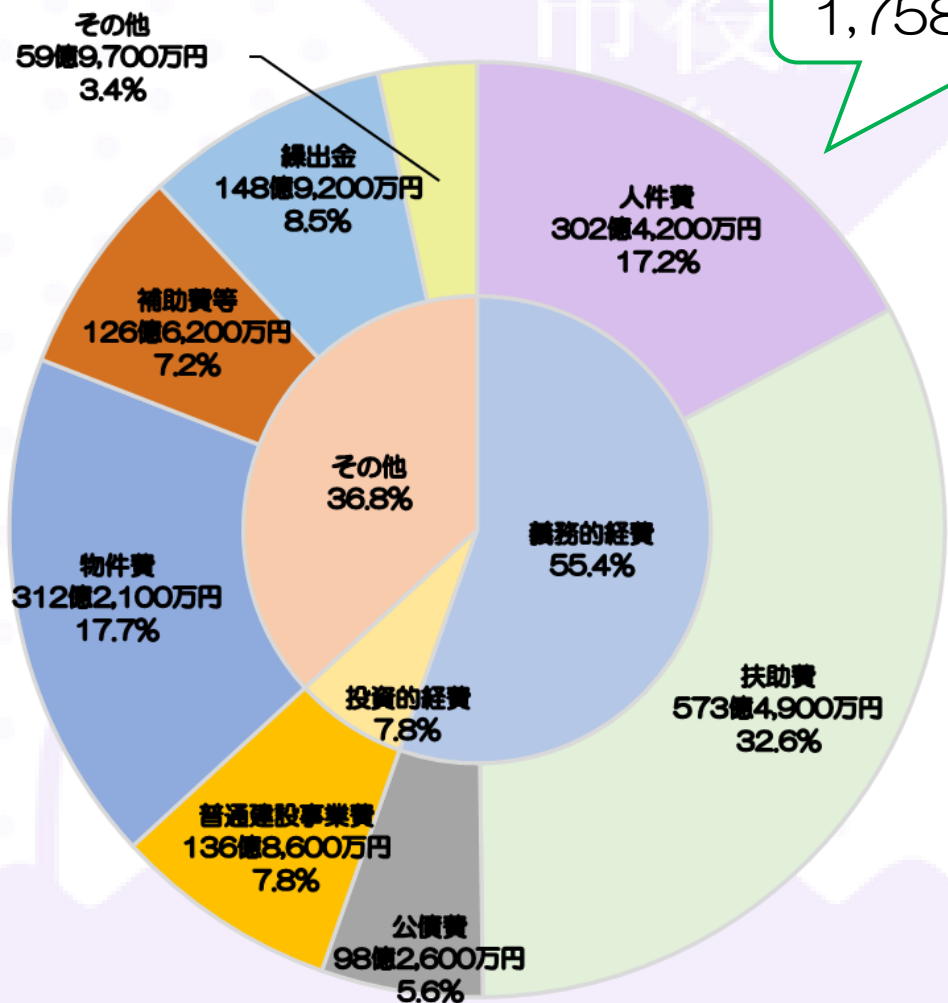
藤沢市の普通会計は、一般会計と2つの特別会計（墓園事業費、北部第二（三地区）土地区画整理事業費）の一部を合わせたものです。



令和6年度決算を見てみよう

《今度は普通会計決算から藤沢市の財政状況を見てみましょう》

性質別のお金の使い道



総額
1,758億7,500万円

主な性質の説明



扶助費

子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者などを支援



普通建設事業費

道路、橋、公園、学校などの公共施設の整備



繰出金

国民健康保険事業や土地区画整理事業などに対して医療費や建設費を補助



公債費

施設再整備や道路等を作るときに、銀行などから借り入れたお金の返済

補助費等

下水道事業や市民病院事業に対する負担金、幼稚園や保育所への補助金など

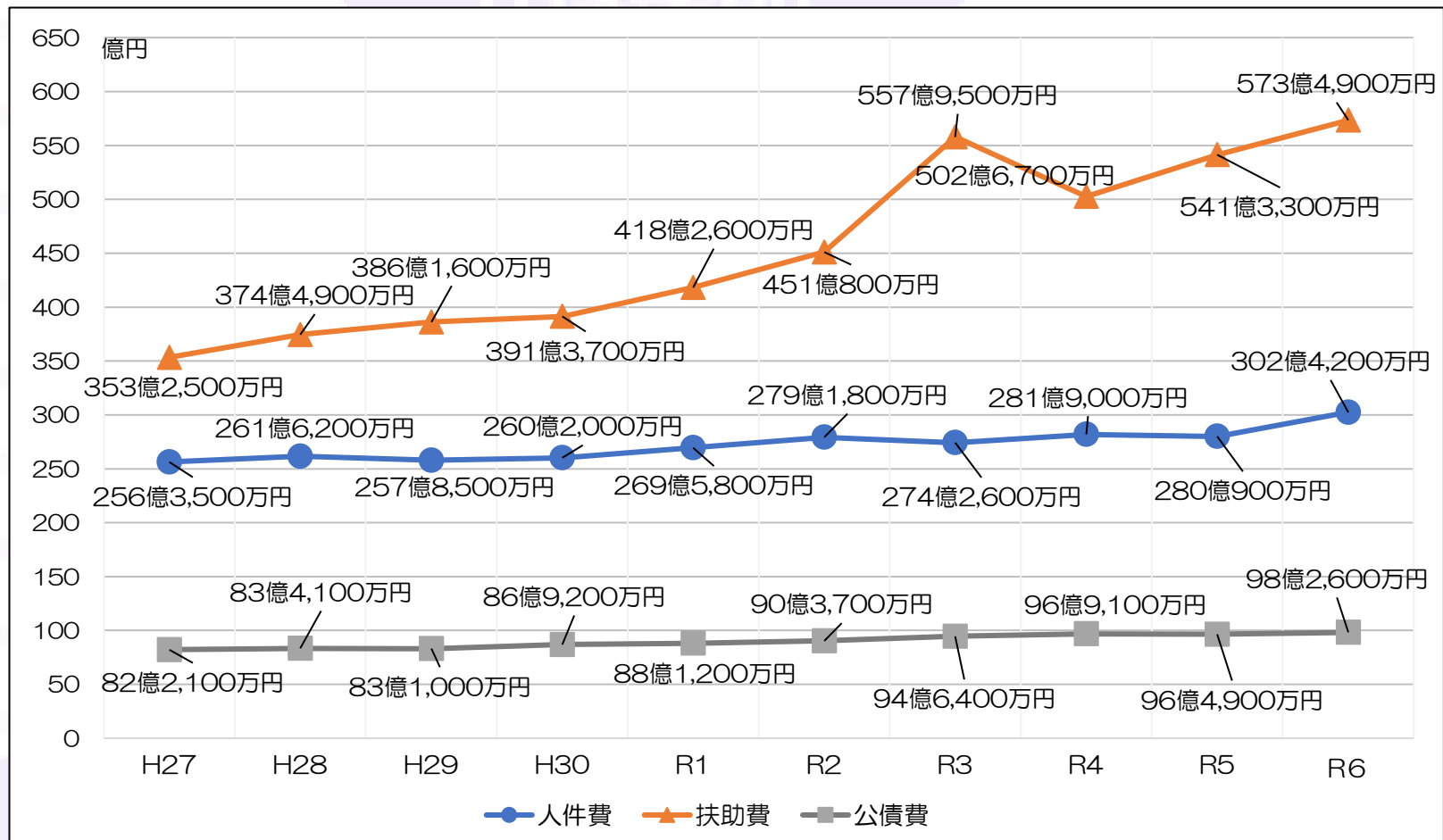




令和6年度決算を見てみよう

《義務的経費について見てみましょう》

人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務づけられ、節減することが難しいため「義務的経費」と分類されます。その義務的経費の決算推移を見てみましょう。



義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい市民サービスや公共施設の建設などが難しくなります。

● 人件費は10年間で徐々に伸びています。

▲ 扶助費は10年間で約220億2,400万円増加しました。令和6年度は前年度比で約32億1,600万円の増加となっています。

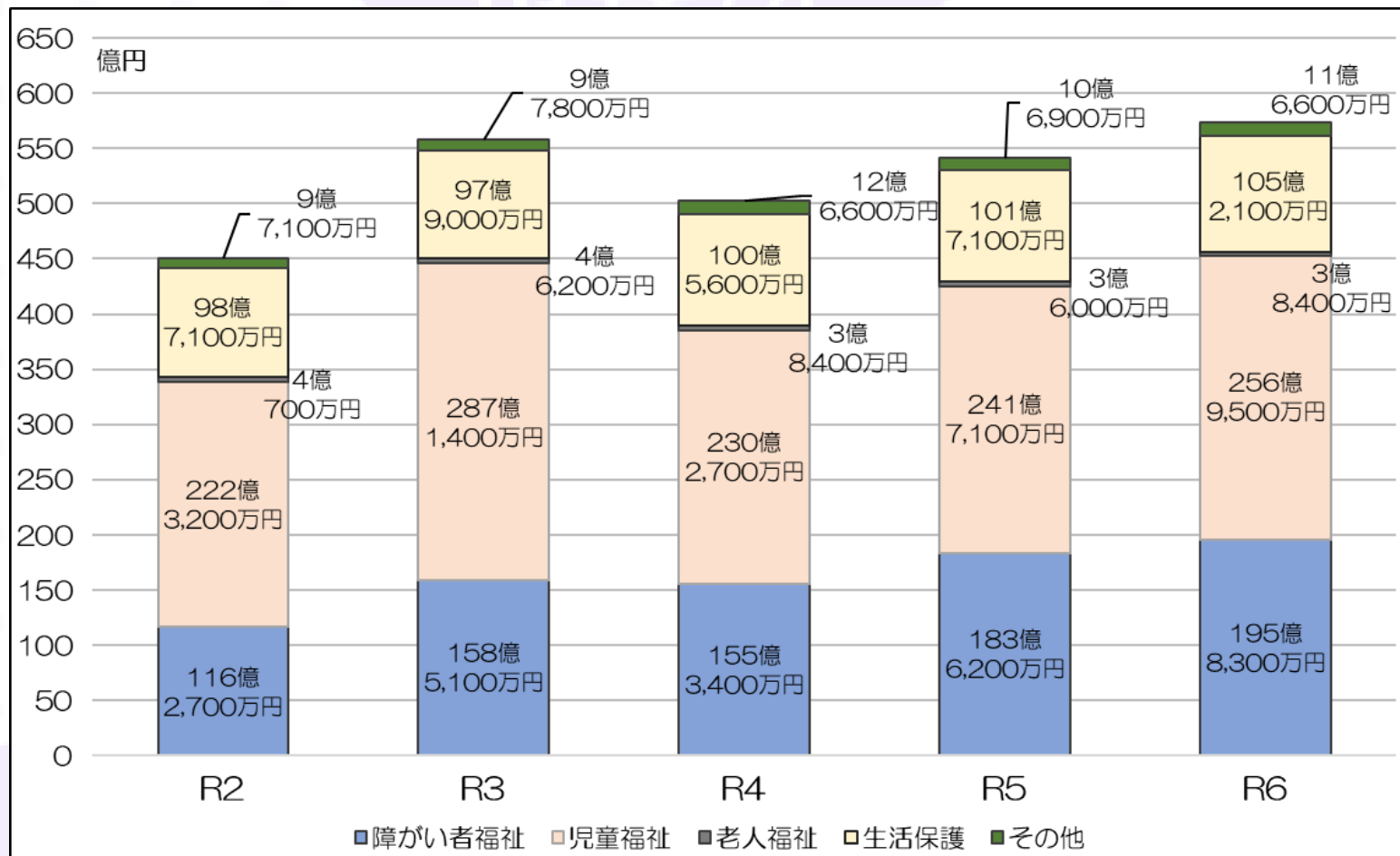
■ 公債費は、この10年間で徐々に伸びています。



令和6年度決算をしてみよう

《義務的経費について見てみましょう》

前ページから、扶助費が一番増えていることが分かります。では、扶助費のうち、何が増えているのでしょうか。



5年間で障がい者や子どもに対する扶助費が増えています。全体で約122億円の増加（障がい者福祉費が約80億円、68.4%増、児童福祉費が約35億円、15.6%増など）となっています。

藤沢市は子育て支援に力を入れてるんだキュン。

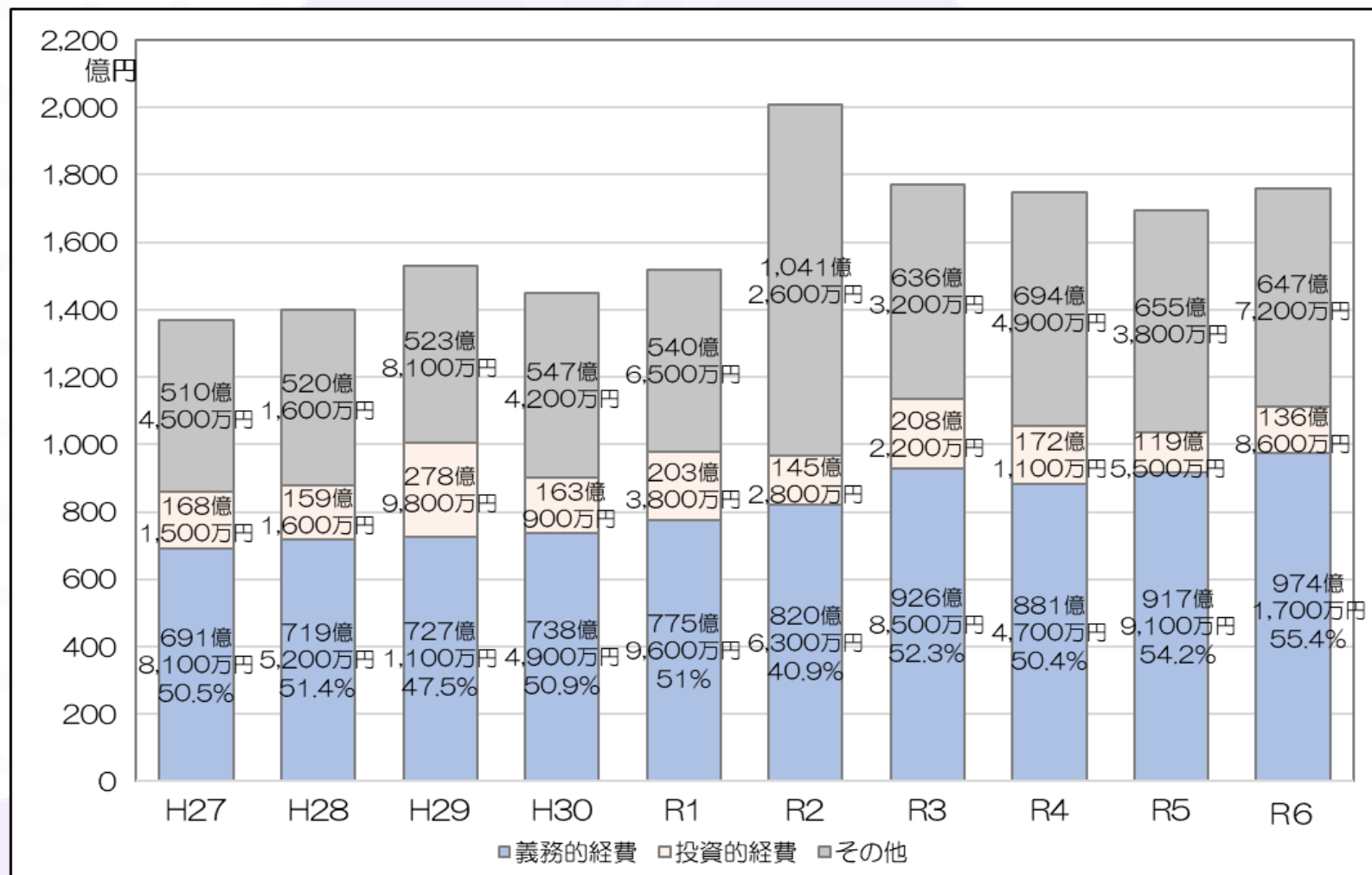




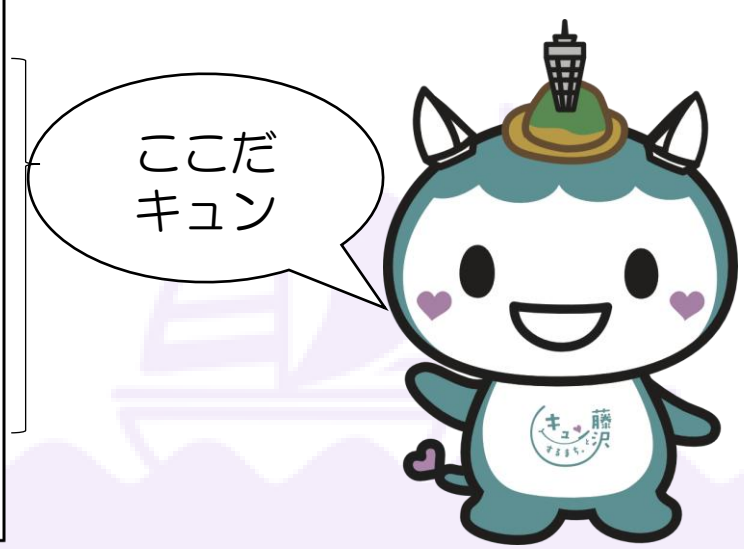
令和6年度決算を見てみよう

《義務的経費について見てみましょう》

では義務的経費は歳出全体のどのくらいの割合を占めているのか見てみましょう。



義務的経費は10年間で約282億円(40.8%)増えました。歳出全体に占める割合は、投資的経費や定額給付金の影響などで増減はあるものの、平成27年度以降、継続して50%前後の水準で推移しています。



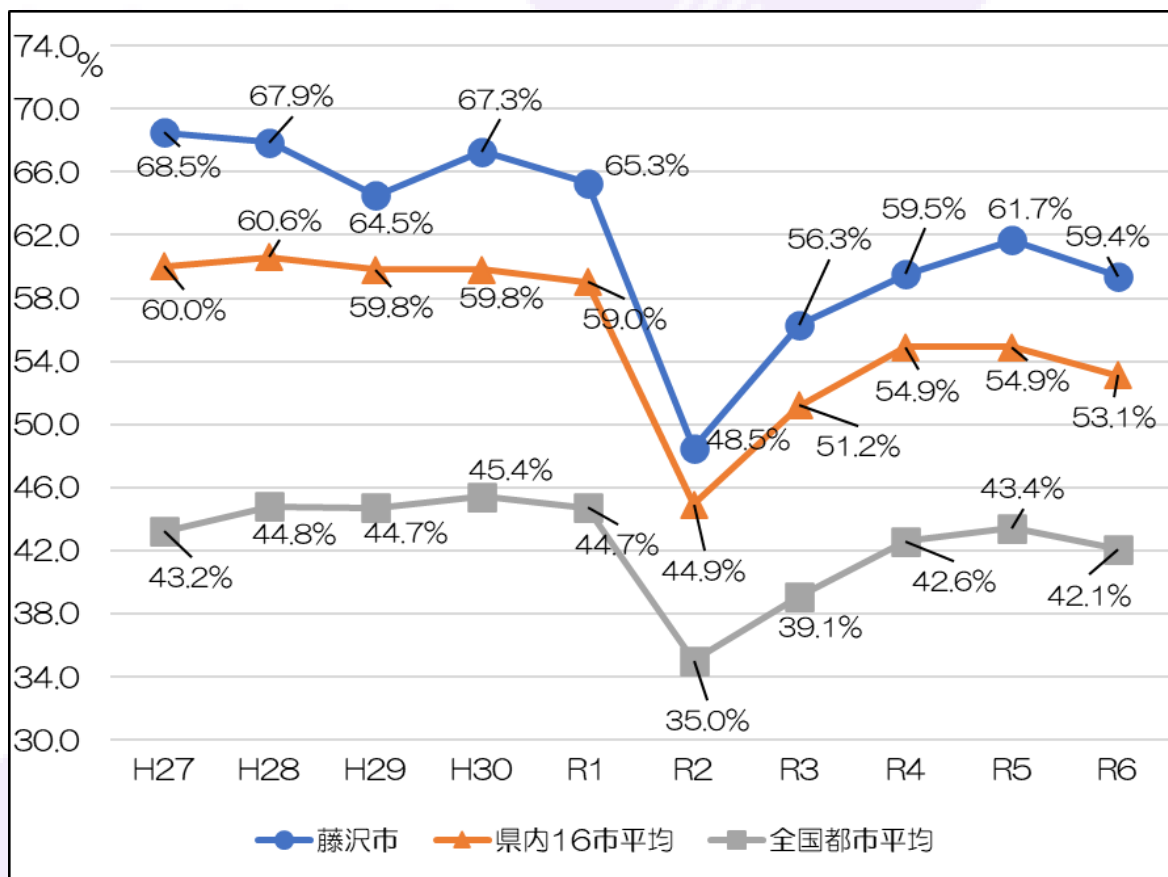


令和6年度決算を見てみよう

《財政指標から見る藤沢市の財政運営》

義務的経費が増えている藤沢市の財政運営は大丈夫でしょうか。2つの財政指標から見てみましょう。

自主財源比率の推移



自主財源比率

財政の安定度や健全度を示す指標です。

市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどのくらいの割合になるかをあらわし、比率が高いほど財政基盤の安定性があります。

市税・使用料
など

歳入総額

全国都市平均は、平成27年度以降、45%前後で推移していましたが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症への対応などにより依存財源が増加したことから、歳入全体に占める自主財源比率が大きく減少しています。令和2年度は、藤沢市も全国都市平均と同様に大きく減少した後、令和3年度以降、回復傾向がみられましたが、令和6年度は藤沢市も全国都市平均も減少となりました。

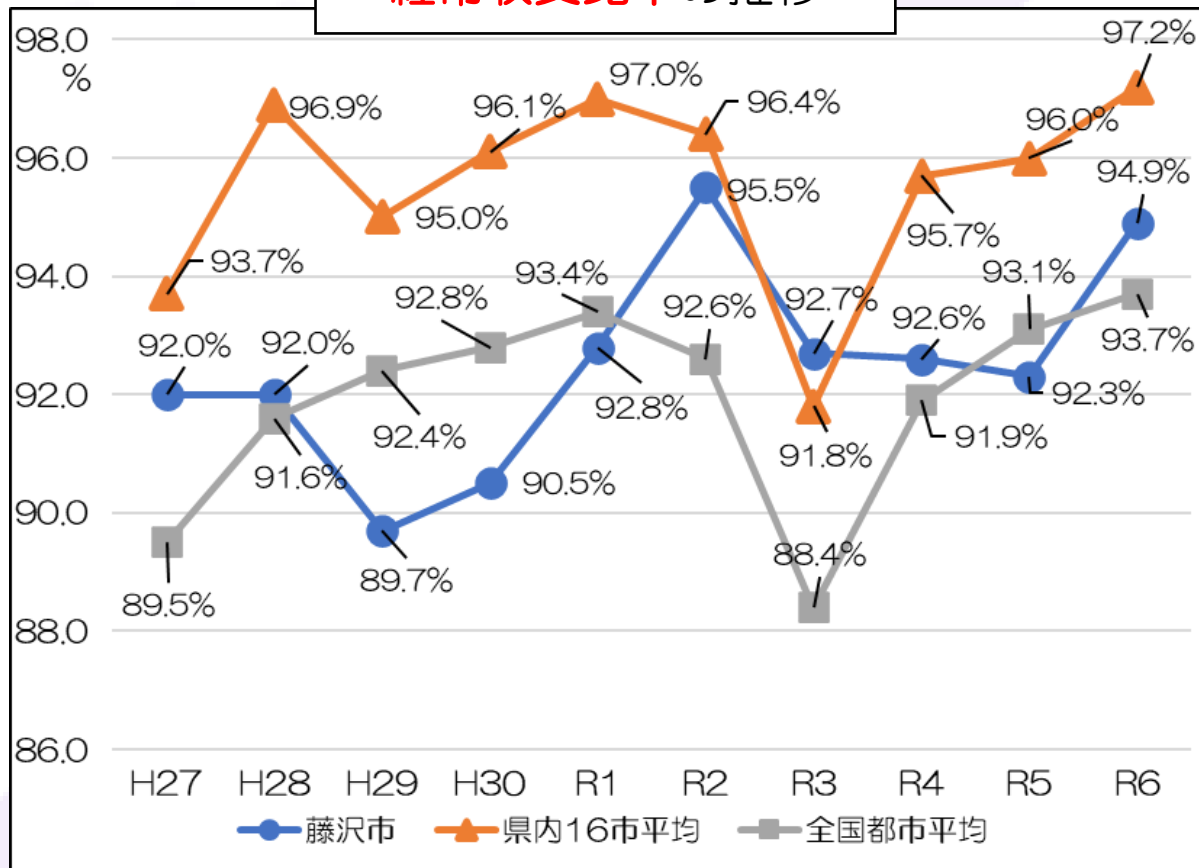


令和6年度決算を見てみよう

《財政指標から見る藤沢市の財政運営》

義務的経費が増えている藤沢市の財政運営は大丈夫でしょうか。2つの財政指標から見てみましょう。

経常収支比率の推移



経常収支比率

自由に使えるお金がどのくらいあるかがわかります。

社会経済や市民ニーズの変化に的確に对应していくための財源がどの程度確保されているかを示します。

毎年度固定的に支出される経費※に使われた一般財源

市税等の経常的な一般財源

※人件費・扶助費・公債費等です。

経常収支比率は一般的に80%程度が望ましいと考えられていましたが、現在では大多数の市が80%を超えており、令和6年度決算の全国都市平均は93.7%となっています。

藤沢市は、経常収支比率の分子となる歳出が、人件費や物件費の高騰により増加したことで、前年度から2.6ポイント増加し、94.9%となっています。



令和6年度決算を見てみよう

《財政指標から見る藤沢市の財政運営》

財政状況を見る財政指標にはいろいろありますが、ここでは主な財政指標を取り上げました。

	財政力指数	実質収支比率	経常収支比率	自主財源比率	義務的経費比率
	<p>財政力指数は、標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを見る指数です。</p> <p>指数が大きいほど財政力が強く、1未満になると国から普通交付税が交付されます。</p>	<p>歳入歳出の形式的収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額（黒字または赤字額）が、標準財政規模に対してどの位の割合になるかを表すものです。</p> <p>よりわかりやすく言うと黒字率や赤字率を見る指標です。</p>	<p>扶助費や人件費など経常的にかかる経費に対して、市税や各種交付金など経常的に入ってくる一般財源をどの位の割合で使っているかを表すもので、財政の弾力性や硬直度を見る指標です。</p> <p>この比率が高いほど財源の余裕が少なくなり、政策的に使えるお金が少なくなります。</p>	<p>市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかを表し、財政の安定度や健全度を示す指標です。</p> <p>この比率が高いほど財政基盤の安定性があります。</p>	<p>人件費・扶助費・公債費の義務的経費が歳出全体に対してどのくらいの割合になるかを表し、財政の硬直度を示す指標です。</p> <p>この比率が高くなると、経常経費が増大して財政構造が硬直化することになります。</p>
藤沢市	1.092	6.9%	94.9%	59.4%	55.4%
県内16市平均	0.89	7.9%	97.2%	53.1%	53.1%
県内16市順位	3位	10位	2位	3位	11位
全国792都市平均	0.612	6.0%	93.7%	42.2%	47.0%
全国792都市順位	28位	280位	476位	39位	703位



藤沢市の借金はどうなっているの？

《どうして借金をするの？》

市の借金には「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があります。

公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他のサービスが提供できなくなってしまう。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債を活用して世代間で平等に費用の負担をお願いしています。



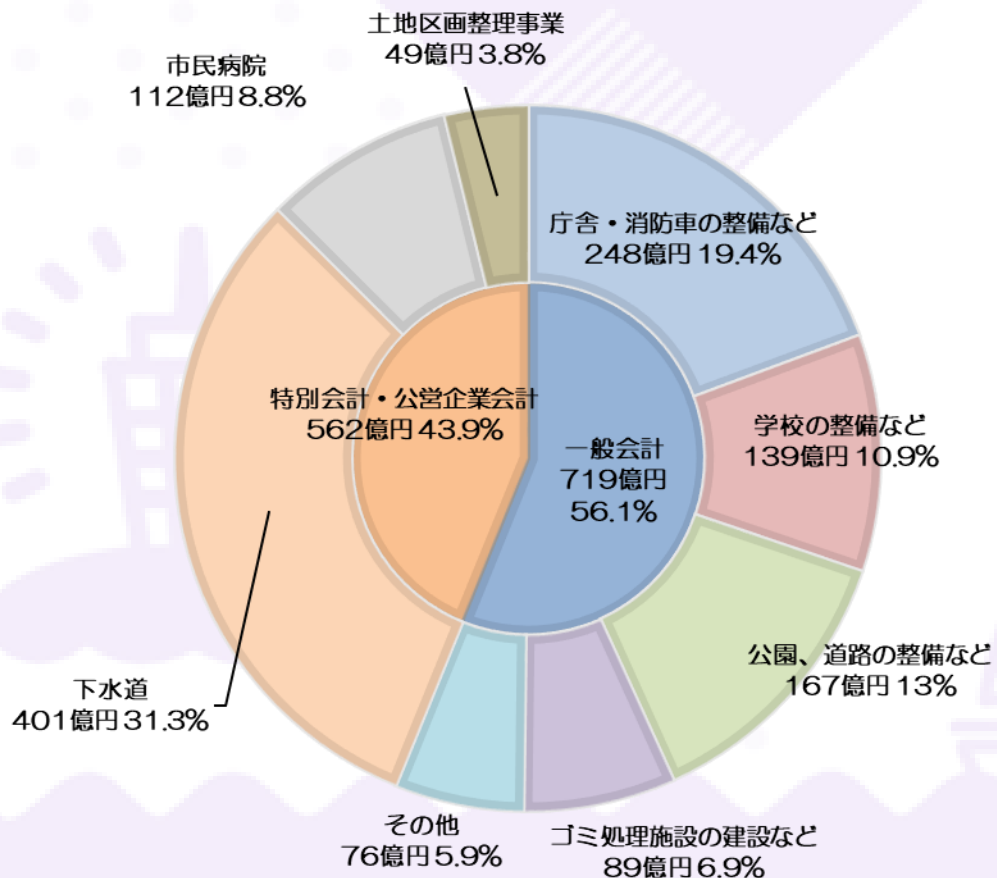


藤沢市の借金はどうなっているの？

《借金はどれくらい？》

藤沢市はどれくらい借金しているのでしょうか。令和6年度決算から見てみましょう。

借金の内訳



令和6年度末借金残高
1,281億円

藤沢市の借金は令和6年度に約113億借り入れて、約138億返済しました。借金残高は市全体で約1,281億円です。

借金は、主に公園・道路・学校・下水道などの公共施設の整備に使われています。

市民1人当たりになると

令和6年度中の
 新たな借入…約2万5千円
 元利返済…約3万3千円
 残高…約28万8千円



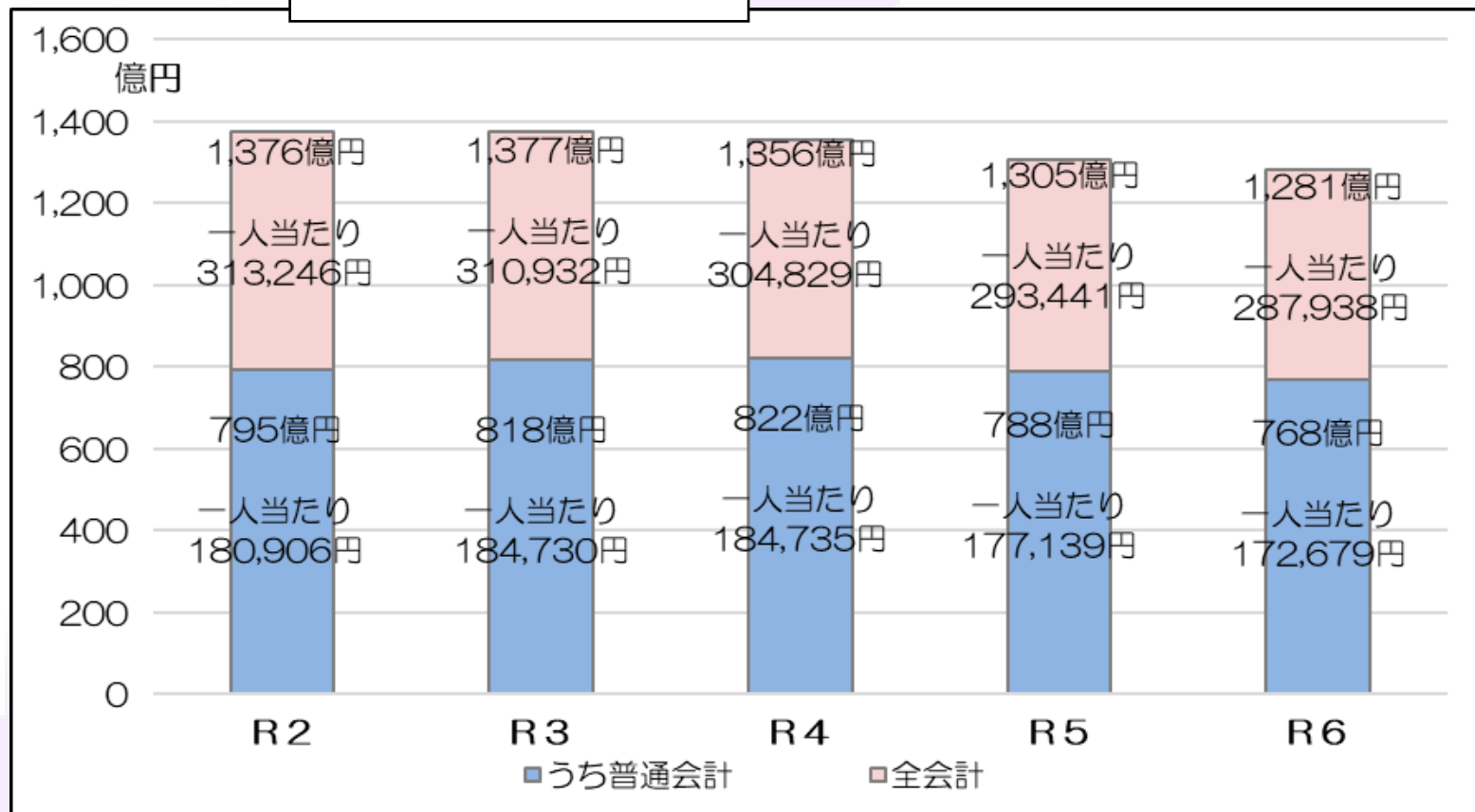


藤沢市の借金はどうなっているの？

《借金はどれくらい？》

借金の額がわかりましたが、額が大きすぎてイメージがつかみにくいですね。借金残高と借入額について、推移と市民1人当たりの金額を見てみましょう。

借金残高の推移



毎年、新たな借り入れを行っていますが、過去に借り入れた借金の返済が進んでいるため、令和6年度の借金残高は約1,281億円になりました。

他の市と比べて多いの？

令和6年度決算では市民一人当たりの借金が県内16市※1の中で4番目に少ないです。

一人当たりの借金額※2
 県内最高 約49万円
 16市平均 約26万円

※1 横浜市・川崎市・相模原市を除く16市

※2 他市と比較するため、普通会計の数値

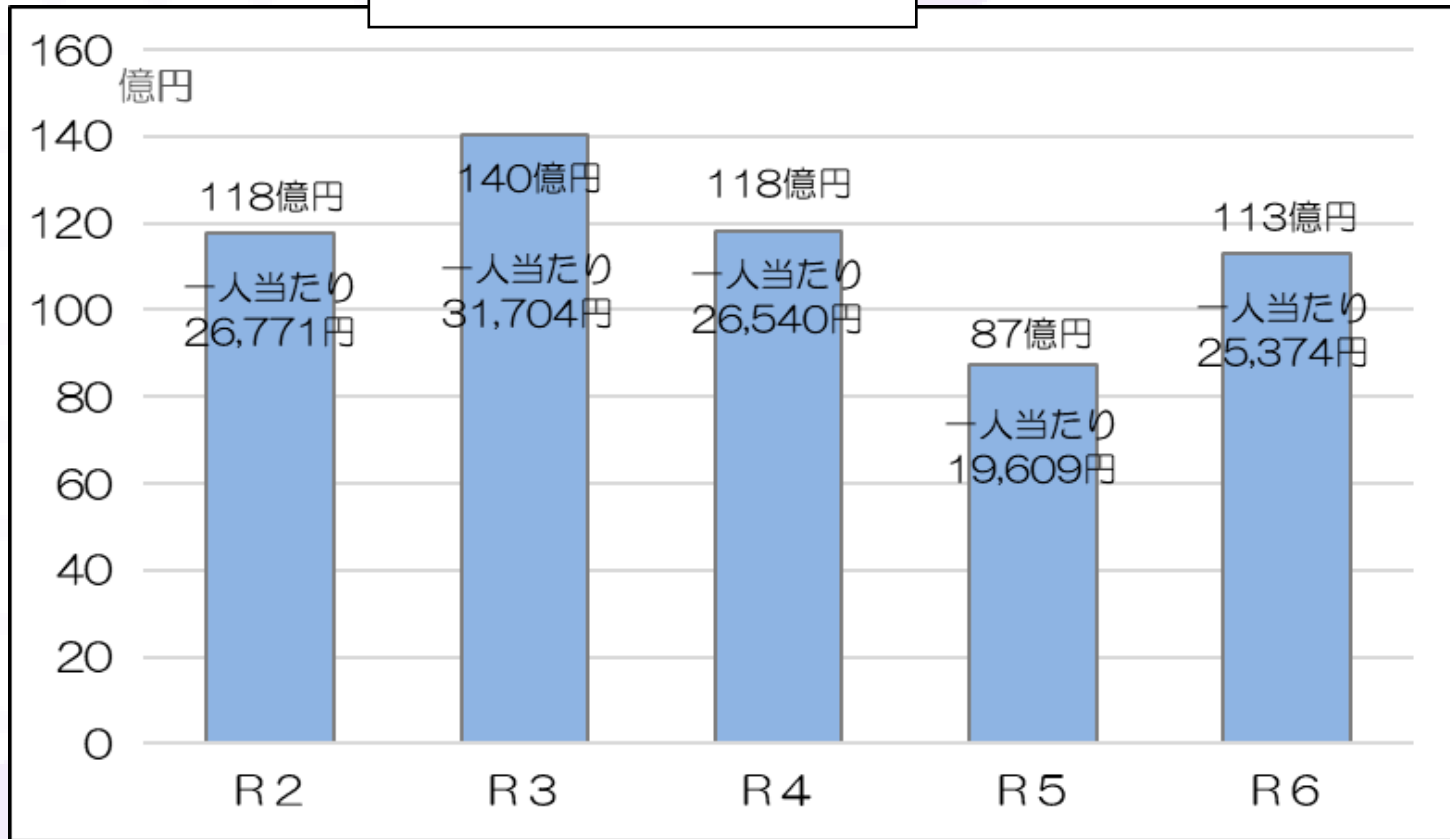


藤沢市の借金はどうなっているの？

《借金はどれくらい？》

借金の額がわかりましたが、額が大きすぎてイメージがつかみにくいですね。借金残高と借入額について、推移と市民1人当たりの金額を見てみましょう。

借入額の推移(全会計)



令和6年度は村岡市民センターの改築事業等により、借入額が増加し、全体で約26億円の増となりました。

市債？国債？何が違う？

市の借金を「市債」
 国の借金を「国債」
 県の借金を「県債」

どこから借りているの？

市債は国や県、銀行などから借り入れています。



藤沢市の借金はどうなっているの？

《借金をしてても財政運営は大丈夫なの？》

借金の返済額は身の丈にあっているのでしょうか。また、将来の市民の負担にならないのでしょうか。健全化判断比率を使って見ていきましょう。

健全化判断比率とは？

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「財政健全化法」で、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」を議会や市民のみなさんに毎年公表することが義務づけられています。

健全化判断比率は、4つの指標①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率があり、赤字や負債（借金返済）の状況など4つの視点から示すものです。

①・②は年間の赤字の割合（①は一般会計等、②は全ての会計を対象）、③は借金の返済額の割合、④は将来の負担が見込まれる負債の割合をチェックするものです。



藤沢市の借金はどうなっているの？

《借金をしてても財政運営は大丈夫なの？》

藤沢市の健全化判断比率は以下のようになっています。
次のページからより詳しく見ていきましょう。

単位：%

比率	藤沢市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	R6	R5		
実質赤字比率	— (▲7.58)	— (▲6.85)	11.25	20
連結実質赤字比率	— (▲19.68)	— (▲19.51)	16.25	30
実質公債費比率	5.3	5.2	25	35
将来負担比率	46.4	45.2	350	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率の比率欄「—」は、それぞれ比率の算定の結果、「実質赤字額がない」ことを表しています。参考として()にマイナスの比率を表記しています。

市の財政状況が悪化し、危うくなったときにイエローカード（早期健全化基準）で警告をします。

更に悪化し自主的に財政の立て直しができなくなったときは、**レッドカード（財政再生基準）**で、国・県の関与のもと、確実な財政の立て直しに着手することになります。



藤沢市の財政状況は

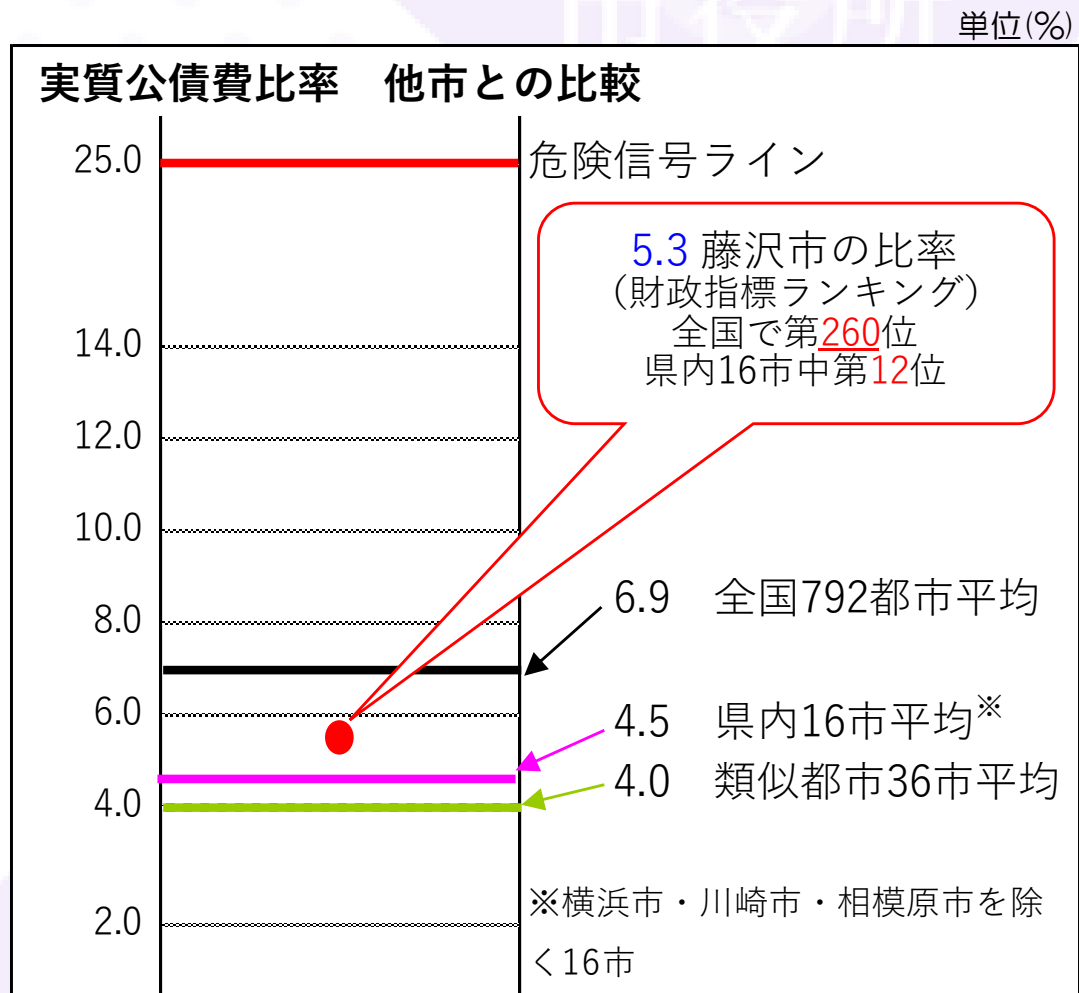
健全化判断比率からみた令和6年度の藤沢市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す基準値を下回っており、「健全」といえます。



藤沢市の借金はどうなっているの？

《借金の返済額は妥当なの？》

借金の返済額は身の丈に合っているのでしょうか。「**実質公債費比率**」から確認していきましょう。



実質公債費比率とは？

収入に対して返済額がどの程度の割合になるのか、借金返済の負担が多すぎないかをチェックするものです。

借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、藤沢市は5.3%（令和6年度決算）で良好な状態にあります。

家計に例えると・・・

家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなど、その年の返済額が、年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いという危険信号を示しています。

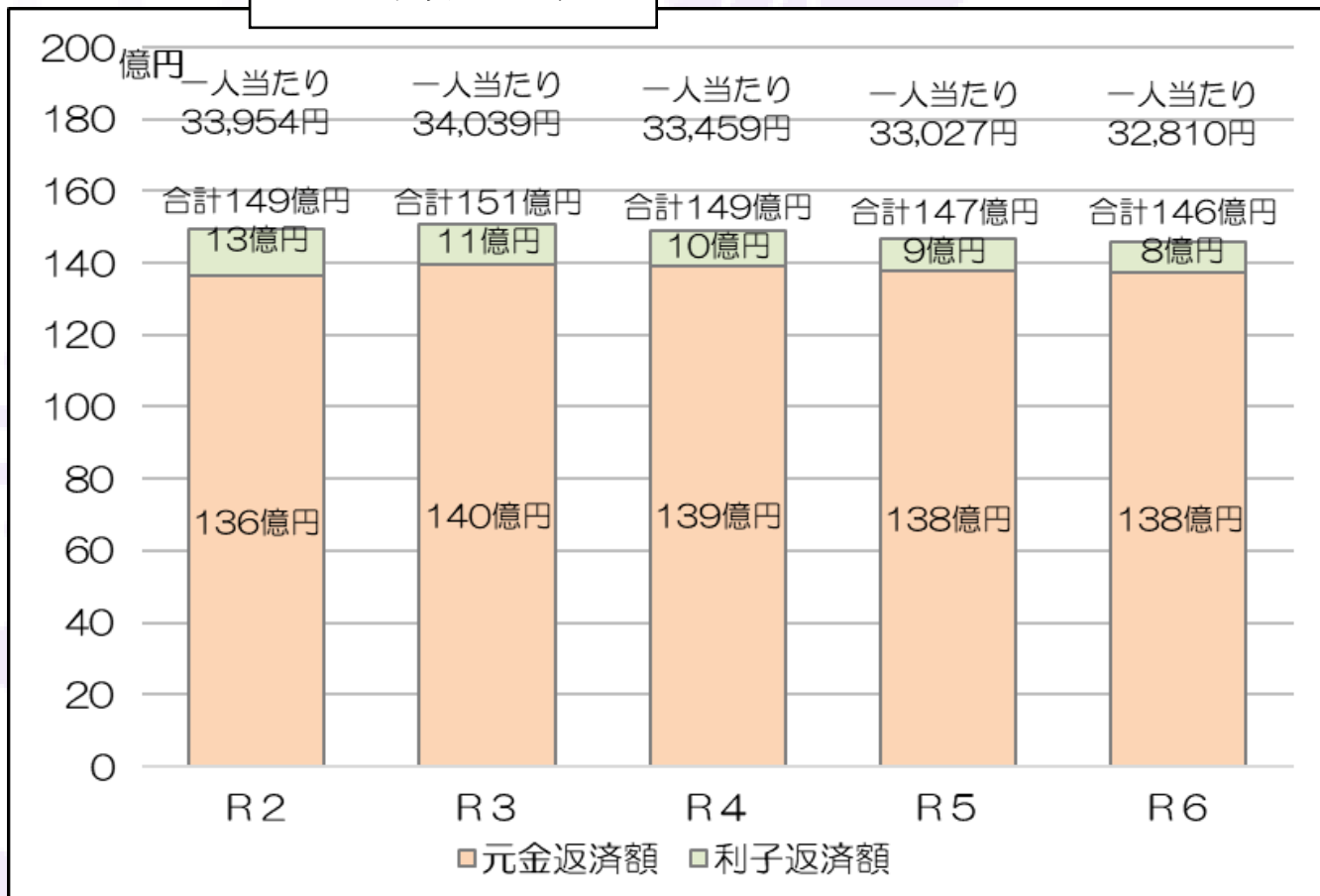


藤沢市の借金はどうなっているの？

《借金の返済額は妥当なの？》

借金の返済額は毎年どのくらいなのでしょう。推移を見ていきましょう。

返済額の推移



この5年間は市役所本庁舎や分庁舎整備分などの返済が始まった一方、過去に借り入れた分の返済が一部終了したことで、年間おおむね150億円の返済額で推移しています。



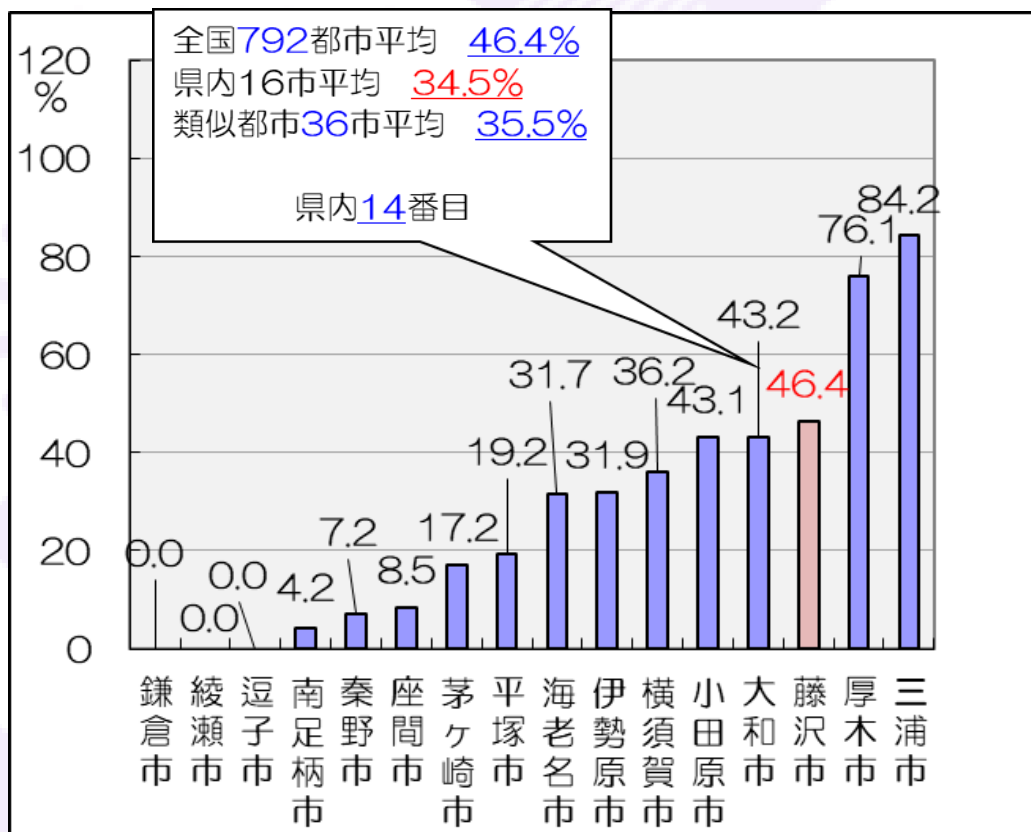


藤沢市の借金はどうなっているの？

《将来の市民に負担はかからないの？》

借金や職員の退職金など、将来支払わなければならない負債にかかる負担は大きくないでしょうか。「**将来負担比率**」から確認していきましょう。

県内16市将来負担比率(令和6年度)



将来負担比率とは？

借金や将来にわたる契約により約束された支払い等の負債が、収入に対してどの程度なのか、負債にかかる負担が大きくないかをチェックするものです。

将来財政を圧迫する可能性が高いとされる目安350%に対して、藤沢市は46.4%（令和6年度決算）で良好な状態にあります。

家計に例えると・・・

家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済していかなければならない返済総額が、年収の3.5倍以上になった場合には、今後ローン返済などに追われ家計が成り立たなくなり、経済的苦境におちいる状態にあることを示しています。



藤沢市の貯金はどれくらい？

《藤沢市は貯金があるの？》

市の貯金とは

藤沢市には貯金に相当する「基金」というものがあります。基金は、それぞれの基金条例に基づき、寄附金や基金利子などを積み立てて、基金の目的に応じて必要な時に取り崩して使うものです。

藤沢市は財政調整基金をはじめ、公共施設整備基金、環境基金、愛の輪福祉基金、森林環境譲与税基金など、全部で16の基金を持っていて、令和6年度末の総額で約246億1,600万円※、市民1人あたり約5万5,000円の貯金があります。

いろいろな基金の中でも、財政調整基金は、税收減による財源不足の年度間調整や、災害への備えなど、いざという時のために積み立てているものです。

※ 令和7年3月31日時点 特別会計基金を含めた総額

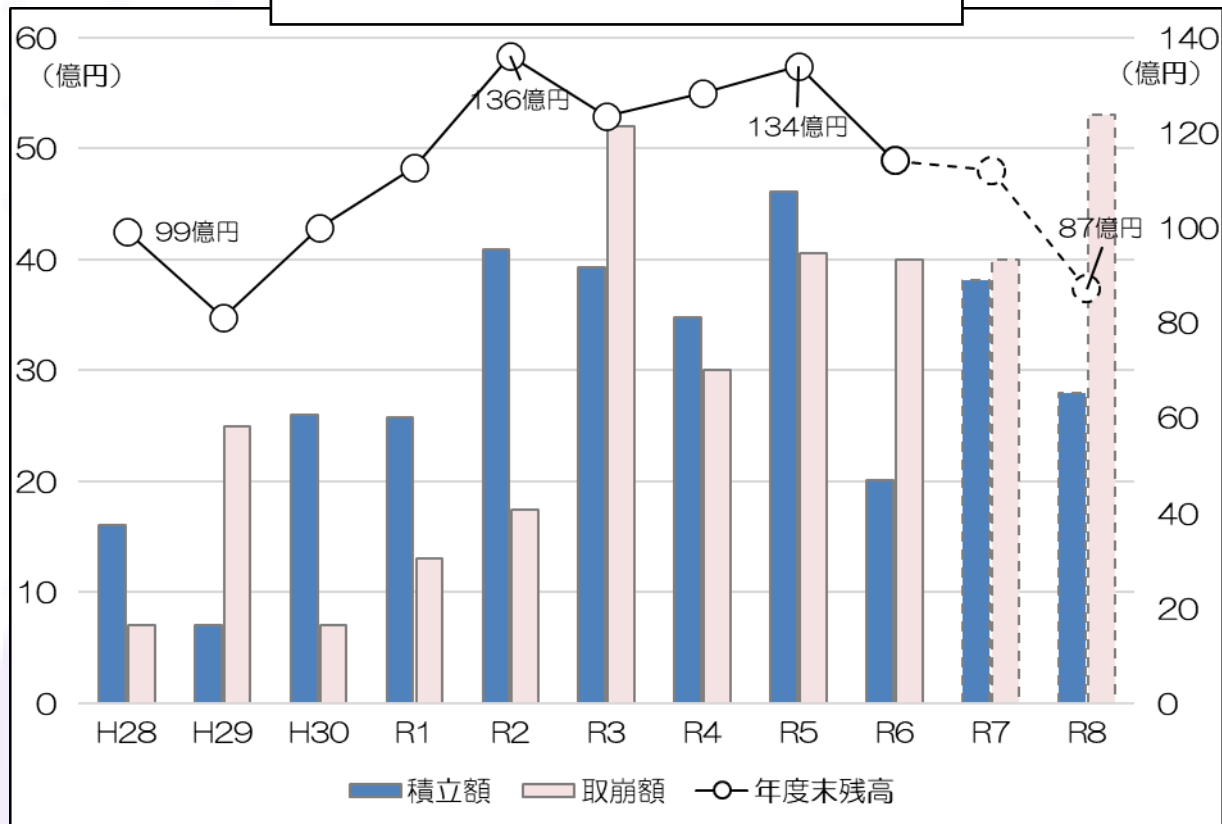


藤沢市の貯金はどれくらい？

《藤沢市は貯金があるの？》

いざという時のために積み立てている財政調整基金の推移と見込みを見てみましょう。

財政調整基金の推移と見込み



令和8年度の取り崩し額は当初予算額で53億円です。中期財政見通しのとおり28億円積立した場合、令和8年度末の残高見込みは、**約87億円**となります。

今後も経済状況の落ち込みに伴う税収減による財源不足や、災害への備えなどのために、可能な限り財政調整基金に積み立てていくことが必要です。



※ 令和7年度は令和8年3月時点の予算額



これから先の藤沢市の財政は？

《将来も藤沢市の財政は大丈夫なの？》

将来の財政状況を把握し、対策していくため、藤沢市では「中期財政見通し」を作成しています。

中期財政見通し(一般会計・2024(令和6)年11月改定)

現在、藤沢市では毎年度の予算編成において多額の財源不足が生じており、歳出抑制や歳入確保に取り組む中で、何とか収支の均衡を図っている状況にあります。こうした財政状況を市民のみなさんと共有するとともに、中期的な視点で財政運営の状況を把握し、さまざまな事業を計画的に進めていくため、2024（令和6）年11月に「中期財政見通し」を改定しました。

この中期財政見通しでは、何も対策を講じない場合、単年度で約50億円から186億円の財源不足が生じる見込みとなっています。



これから先の藤沢市の財政は？

《将来も藤沢市の財政は大丈夫なの？》

これから実施していく事業（歳出）と、その財源となりうる歳入の推計を見ていきましょう。

歳出歳入の推計

※R6は当初+肉付予算額 (単位:億円)											
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
歳入	1,692	1,802	1,879	2,078	1,953	1,954	2,058	1,963	1,977	1,935	1,951
市税	858	894	902	906	918	931	934	947	974	978	993
譲与税、交付金	169	147	147	147	147	148	148	148	148	149	149
国・県支出金	428	506	527	584	539	546	576	542	540	528	529
繰越金	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
市債	63	96	139	257	181	174	244	166	159	123	124
その他	154	139	144	164	148	135	136	140	136	137	136
歳出	1,692	1,898	1,929	2,199	2,062	2,085	2,239	2,132	2,163	2,084	2,102
政策的経費	523	687	705	967	810	812	944	817	818	712	706
うち、公共施設再整備事業	33	40	103	235	163	177	257	67	51	50	51
うち、建設事業	164	204	241	360	290	300	342	359	377	329	323
義務的経費	942	972	982	987	1,004	1,022	1,041	1,054	1,079	1,101	1,122
一般行政経費	227	239	242	245	248	251	254	261	266	271	274
歳入-歳出 (財源不足)	0	▲ 96	▲ 50	▲ 121	▲ 109	▲ 131	▲ 181	▲ 169	▲ 186	▲ 149	▲ 151
※R7は11月12日時点の予算要求額、R8以降はR6予算を基準とした推計値											
財政調整基金 繰入金	40	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
財政調整基金 積立金	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
財政調整基金 残高	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122
公共施設整備基金 繰入金	5	13	17	37	19	6	6	6	6	6	6
公共施設整備基金 積立金	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
公共施設整備基金 残高	68	61	50	19	6	6	6	6	6	6	6
※各基金の繰入金は歳入の「その他」欄に含む											





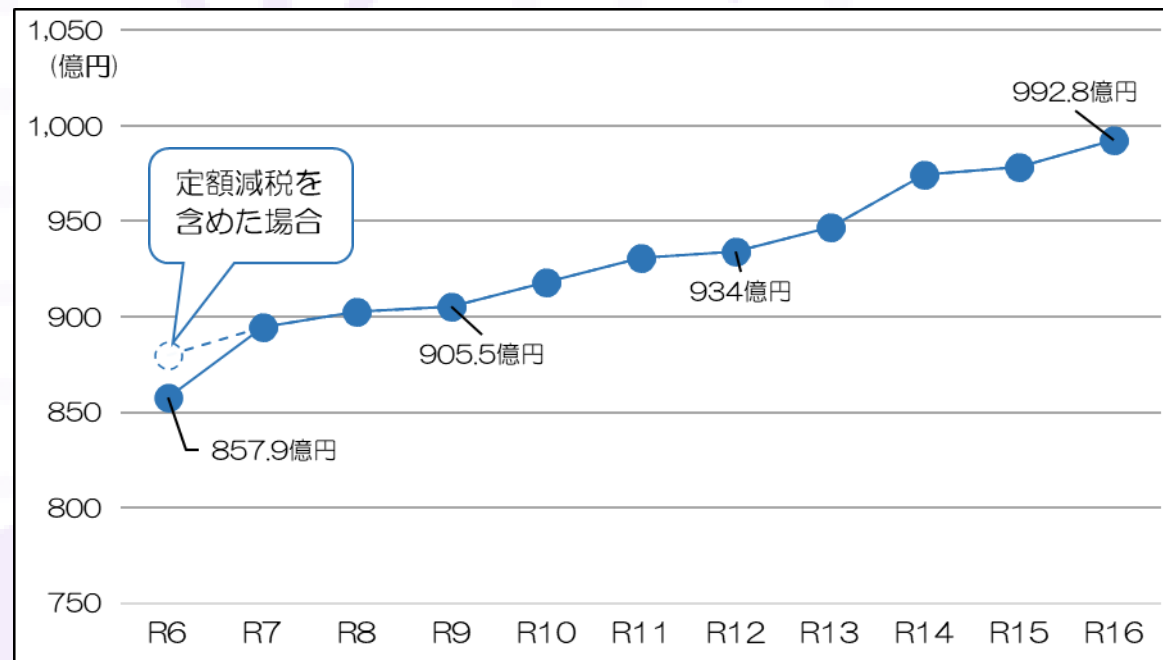
これから先の藤沢市の財政は？

《歳入の主な傾向》

主な歳入である市税と市債の、より詳しい推計を見ていきましょう。

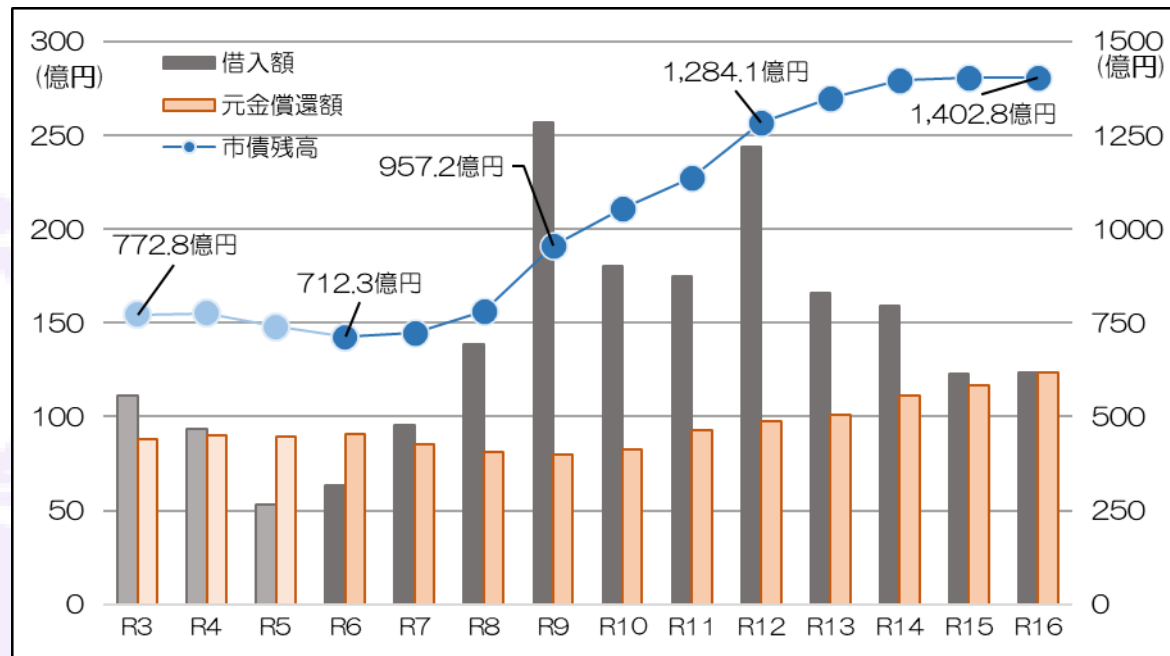
市税

個人市民税は国の定額減税の終了に加え、納税義務者数の増や給与の伸び率の影響から、人口増加が見込まれる推計期間中は年々増大する見込みです。



市債

公共施設再整備事業や都市基盤整備事業の進捗により、市債残高はR7以降から増大し、事業のピークが重なるR9、R12に大きな借入が見込まれます。





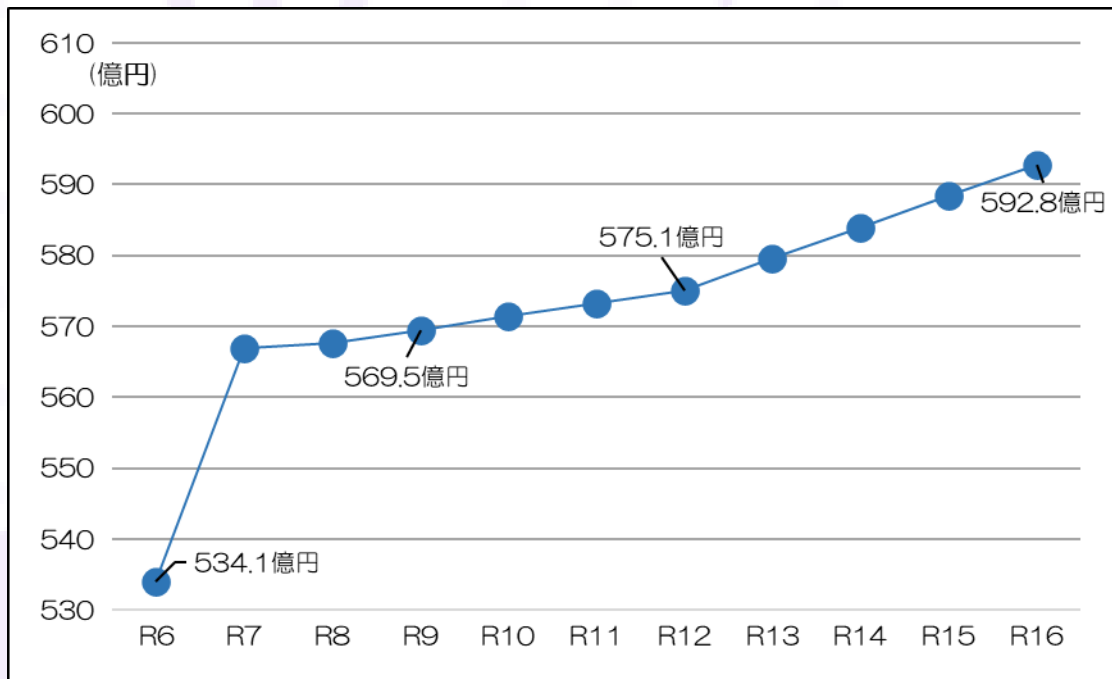
これから先の藤沢市の財政は？

《歳出の主な傾向》

続いては、これから増大が予想される歳出のうち、扶助費と建設事業費の推計を見ていきましょう。

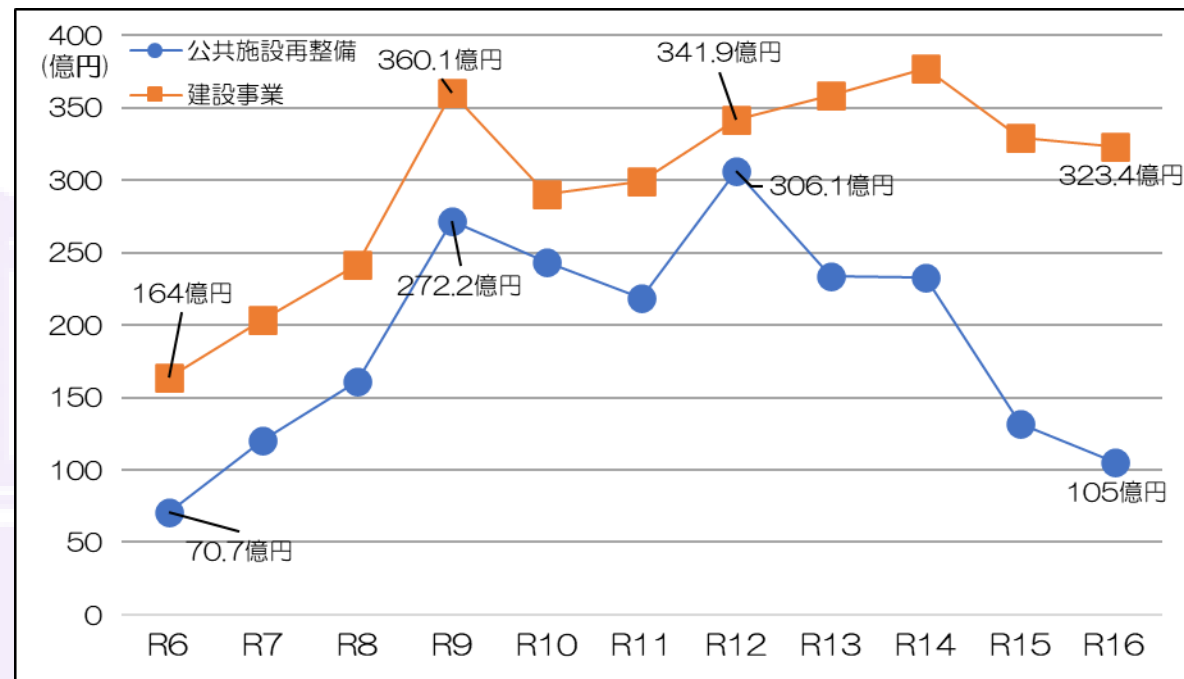
扶助費

児童手当費の制度改正に伴い、R6からR7で大きく増額し、その後は少子超高齢化の進展など人口構造の変化に伴い、年々増大する見込みです。



公共施設再整備と建設事業

これまでは数億～数十億円規模であった事業費がR8～R12には数百億円規模となり、特にR9に主な事業のピークが集中する見込みです。





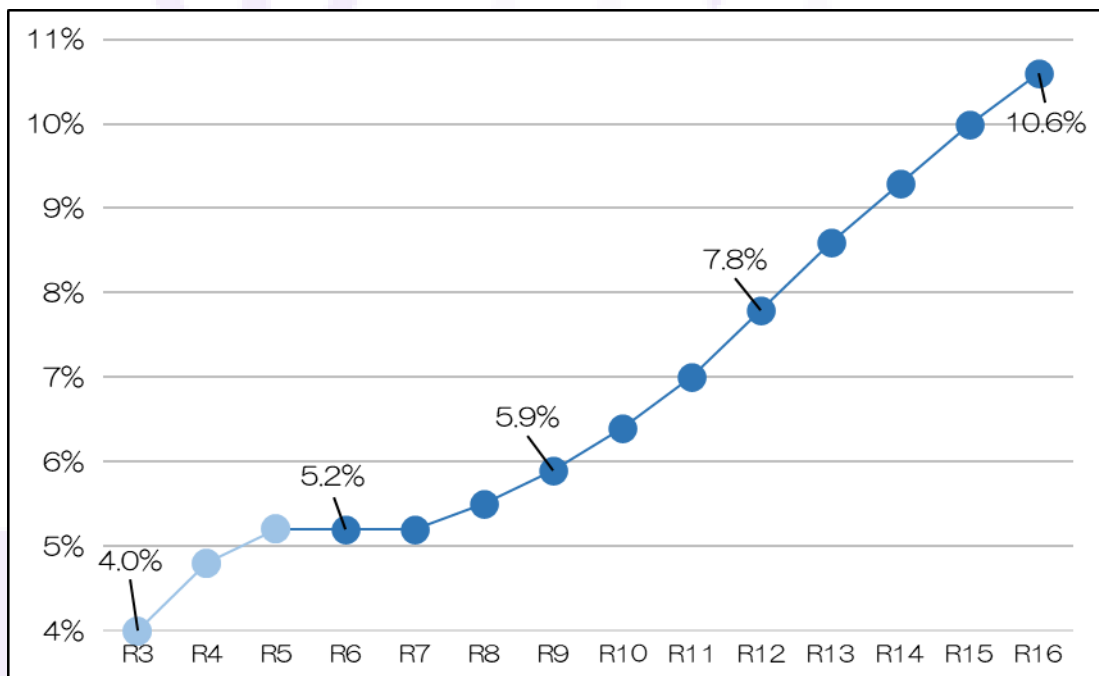
これから先の藤沢市の財政は？

《健全化判断比率（実質公債費比率、将来負担比率）》

最後に、健全な財政運営を保つことができるのかどうか、健全化判断比率の推計を見ていきましょう。

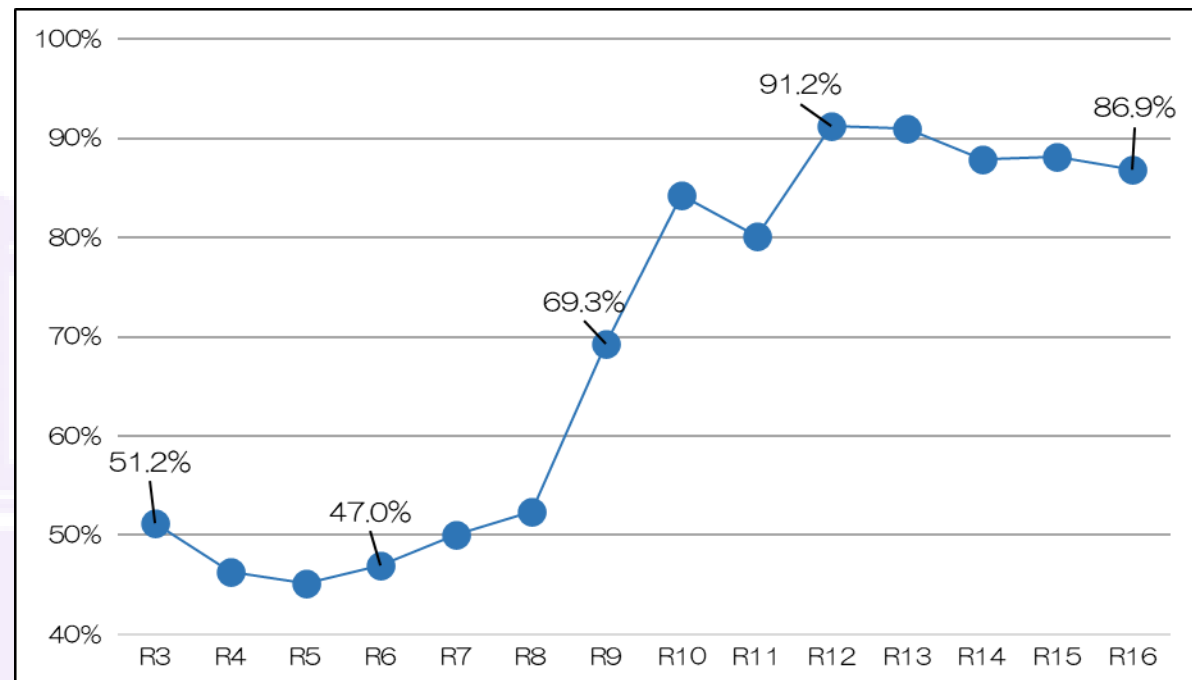
実質公債費比率

公共施設再整備事業や建設事業に伴う大規模な市債の借入等により、比率は上昇する見込みです。



将来負担比率

市債残高の増と充当可能基金の減を要因として、R12まで比率は上昇するものの、債務負担行為に基づく支出予定額の減などにより、その後は減少する見込みです。





これから先の藤沢市の財政は？

《これからどうやって財政運営を進めていくの？》

財政見通しでは多くの財源不足（歳入歳出の乖離）が発生する見込みです。今後も健全な財政運営を維持するため、次のとおり対応を図っていきます。

優先的に行うべき事業の見極め、既存事業の抜本的な見直し
今後の経済状況による事業計画の見直し、先送り、凍結の検討

- | | | |
|------------------------------------|---|-------------------------|
| ① 何らかの財源を生み出した上で、新規拡充事業を予算化することを徹底 | ▶ | 併せて市有財産の有効活用等による歳入確保 |
| ② やらなければならないこと、目的・必要性等の明確化 | ▶ | 事業の選択と集中
公費負担の適切性の確認 |
| ③ マルチパートナーシップによる事業構築 | ▶ | 公共と民間の役割分担を整理 |
| ④ 数値的效果や合理的根拠に基づく事業構築 | ▶ | 費用対効果、投資効果の確認 |
| ⑤ 過度な単年度負担を避け、経費を平準化 | ▶ | 施設規模や事業費の適正化 |



《藤沢市中期財政見通しについては、以下のページからご覧ください。》

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/shise/yosan/zaise/frame.html>



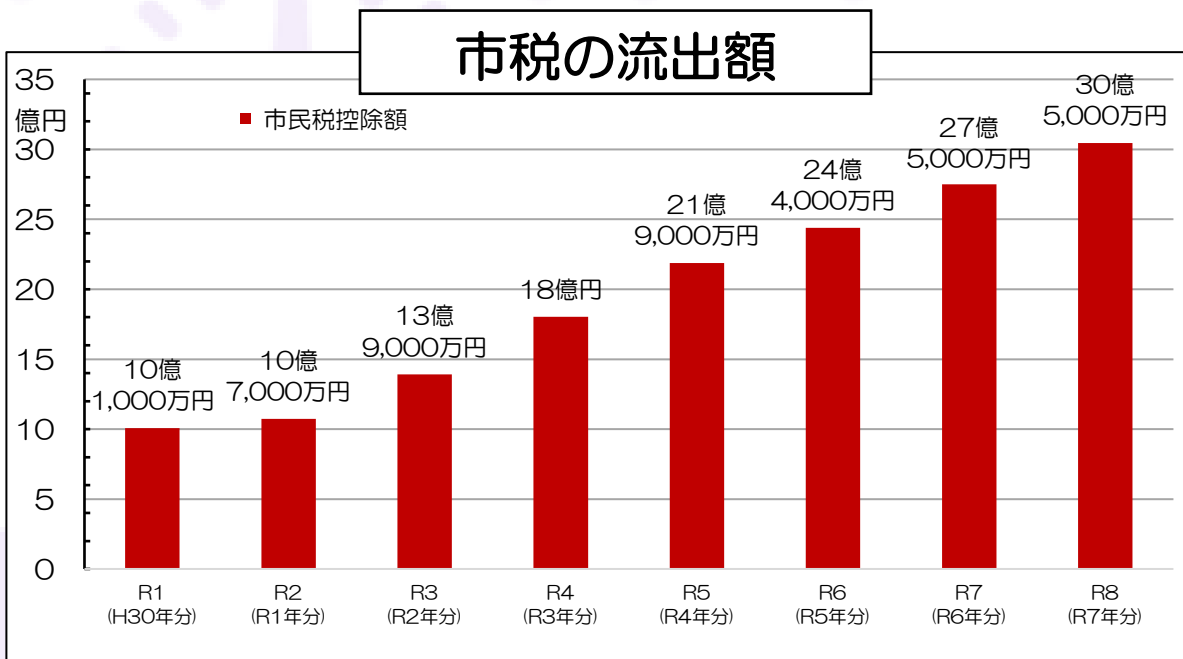
これから先の藤沢市の財政は？

《ふるさとと納税について》

ふるさとと納税とは？

ふるさと（自治体）に対する寄附のことです。個人が自治体へ寄附をすると、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住んでいる自治体に納める市民税・県民税から原則として全額が控除される仕組みで、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されました。

ここでは藤沢市に納められるはずだった市民税が寄附金税額控除により減額となった「市税流出額」を見てみましょう。



各自治体にお住まいの方が、ほかの自治体へふるさと納税を行うことにより、本来納税されるはずであった市民税が寄附金税額控除により減額となる「市税の流出」が起きています。

藤沢市の市民税の流出額は、令和6年度には約24億4,000万円、令和7年度には約27億5,000万円と増加傾向にあります。



財務書類でわかる藤沢市の財政状況

《財務書類ってどんなもの？》

地方自治体の決算書では、現金の収支に重点を置いているため、土地・建物等の資産、建物等の老朽化に伴う価値の減少、借金の残高や引当金などの見えない負債はわかりません。これらを明らかにしたものが財務書類です。

財務書類はどのような考え方で作っているの？

次の考え方を基にして作成しています。

- ①**複式簿記・発生主義**…お金のやり取りの原因となる事実が発生した日を基準にするので、これからの支払いや受け取りの予定が決まっている収入の状況などが明らかになります。
- ②**固定資産台帳の作成**…市が所有している資産の一覧を固定資産台帳として作成することで、市の財産をより正確に把握することができます。

市はこれからどのようなことをしていくの？

財務書類を毎年作成し、過去の状況や他自治体との比較・分析などを進めています。

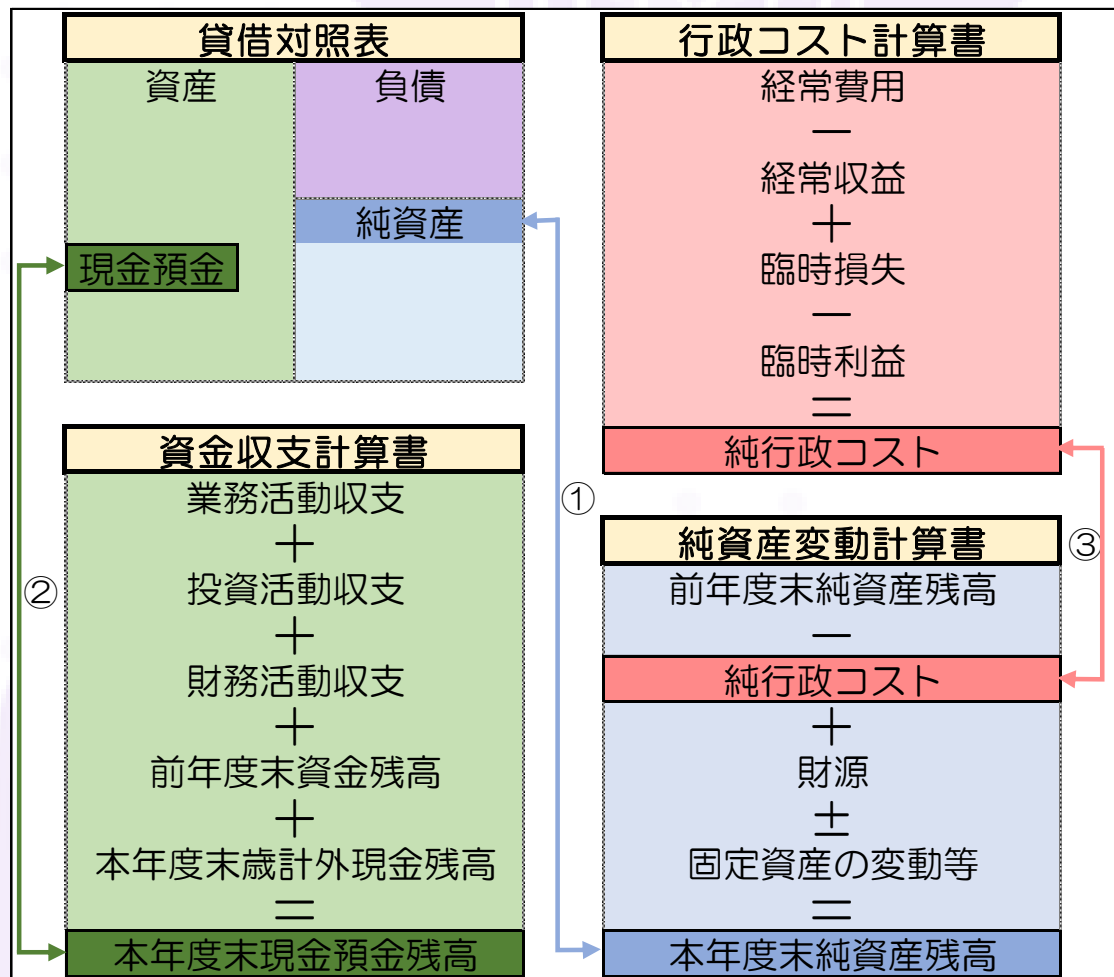
また、事業別や施設別の財務書類を作成することや、市の財政状況や施策の情報をよりわかりやすく説明することで、将来的には公共施設の老朽化対策、予算編成などにも活用することができるようにしていきます。



財務書類でわかる藤沢市の財政状況

《財務書類ってどんなもの?》

財務書類は4つの表で構成されています。以下の図のように、財務書類はそれぞれが密接に関係し、整合性が図られて作られています。



4つの表と相関関係

- **貸借対照表**：どのような資産をどれくらい持っているかがわかる表
- **純資産変動計算書**：純資産が前年度からどのように変動したかがわかる表
- **行政コスト計算書**：行政サービスにどれだけ費用がかかり、どのような収入で賄ったかがわかる表
- **資金収支計算書**：現金の変動がわかる表

- ① 貸借対照表の純資産
= 純資産変動計算書の本年度末残高
- ② 貸借対照表の現金預金
= 資金収支計算書の本年度末現金預金残高
- ③ 行政コスト計算書の純行政コスト
= 純資産変動計算書の純行政コスト



財務書類でわかる藤沢市の財政状況

《財務書類はどの範囲で作るの?》

藤沢市には多くの種類の会計があります。財務書類は一般会計のほか、様々な特別会計や関連団体の財務状況を次の分類で作成しています。

藤沢市の会計分類

	一般会計等	一般会計 特別会計 (地方公営事業 会計以外)	北部第二(三地区)土地区画整理 事業費特別会計 墓園事業費特別会計
全体財務書類	特別会計 (地方公営事業会計)		国民健康保険事業費特別会計 介護保険事業費特別会計 後期高齢者医療事業費特別会計 下水道事業費特別会計 市民病院事業会計
連結財務会計	関連団体		公益財団法人湘南産業振興財団 公益財団法人藤沢市保健医療財団 公益財団法人藤沢市まちづくり協会 公益財団法人藤沢市みらい創造財団 一般財団法人藤沢市開発経営公社 株式会社藤沢市興業公社 藤沢市民会館サービス・センター株式会社 藤沢市土地開発公社 社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会 神奈川県後期高齢者医療広域連合

- ① **一般会計等**
一般会計及び地方公営事業会計以外の特別会計が対象
- ② **全体財務書類**
一般会計等に地方公営事業会計を加えたもの
- ③ **連結財務書類**
全体財務書類に関連団体を加えたもの

《藤沢市のより詳しい財務書類については、以下のページからご覧ください。》

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/shise/yosan/yosan/balancesheet/index.html>



さいごに・・・

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

藤沢市の財政について、少しでも理解いただければ幸いです。

財政課のホームページでは予算書などの資料も公開しています。

また、お近くの市民図書館でも各種資料をご覧いただけます。



《藤沢市財政課のホームページはこちらをご覧ください》

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/>